京城日報
二十七日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

日本遣艦殊勳
獨逸潜航艇撃沈

日本驅逐艦は西班牙バルセロナ港方面より遊弋し來れる獨逸潜航艇を襲撃せり日本驅逐艦の砲彈は敵艇に命中して直に之を沈没せしめたり（倫敦電報）

コ將軍は革命の犠牲
謀叛企畫の眞意發表

コルニロフ將軍がケレンスキー氏に文武の大權を要求せるに就きて驚くべき事實發表せられたり右に依ればコルニロフ將軍が反革命運動の首魁となりて之が矢表に立ちたる眞意は實際ケレンスキー政府を顛覆せんとせしものに非ずして露國内に瀰漫せるロマノフ王朝再興運動より國家及び革命を救はんが爲め自ら其の犠牲となりて倒れ反革命運動に終焉を告しめんと企てたるに在りと（倫敦電報）▲コルニロフ將軍擧兵の眞相は實際露國假政府を顛覆するに非ず露國内に瀰蔓せるロマノフ家王朝再興の爲め其犠牲となれるものなりと（露都電報）

英紙の獨墺回答評

英國諸新聞紙は一齊に獨墺側の羅馬法皇に致せる回答を以て僞善的籠絡的遁辭に過ぎずとなし平和克復に何等の効果無しと論評せり（倫敦電報）

獨軍リガ攻撃再開

露國公報によれば獨軍はリガ方面に向ひ再び攻勢を開始し露軍はドヴヰナに退却すと（紐育電報）

腑甲斐なき獨逸士官

英國に在る獨逸俘虜は口を揃へて其の上官たる士官等の腑甲斐なきことを告白し居れり、曰く彼等獨逸士官は戰線に出で攻撃の開始さるゝや忽ち病を裝ひて戰線に出でざる工夫をなすを常とすといへり、而して彼等兵士は戰線に於て全然上官の姿を見ざりし事を痛く憤慨し居れり（倫敦電報）

獨逸大本營に女優

獨逸の二新聞は皇太子が數名の女優を大本營に招きたることを非難したる爲め其の發賣を禁止せられたり（倫敦電報）

亞國宣戰案附議

亞爾然丁共和國は二十九日對獨宣戰案を議會に附議すべし（紐育電報）

船舶令樞府通過

船舶管理令は二十六日開會の樞密院會議を通過せり（東京電報）

證券五千萬圓發行説

政府は露國軍需品代決濟の爲め今回五千萬圓の證券を發行するに決定せりと傳へらる（東京電報）

院線列車増發

院線列車増發は十月一日より施行す可し新に設けられたる京都下關間旅客二三等列車時間は上り下關發午後十二時五十五分京都着午前七時二十分なり（大阪特電）

櫻丸賣買問題

關釜連絡船櫻丸の賣買に關し函館日下部久太郎氏は海軍協會長貴族院議員海軍中將男爵有地品之允氏に對し背任罪の訴訟を提起したり（東京電報）

聖上千葉行幸
騎兵學校修業式へ臨御

天皇陛下には二十七日午前八時三十分宮城御出門兩國停車場より特別列車にて千葉に成らせられ陸軍騎兵學校修業式に臨御同午後二時四十分東京に還幸あらせられたり（東京特電）

長岡中將西下

陸軍中將長岡外史氏は二十七日午前八時三十分東京驛出發滿鮮各地視察の途に上りたるが釜山、平壤、安東縣より滿洲北支那を經て歸京すべし（東京特電）

日置氏渡滿

前支那駐箚公使日置益氏は日本石油株式會社副社長内藤久寛氏と共に十月六日東京驛出發朝鮮經由滿洲に向ふ可し（東京電報）

滿鐵理事新任

二十六日左の通り任命ありたり（東京特電）

南滿洲鐵道株式會社理事ヲ命ズ
勳六等 川村鉚次郎
從五位勳六等 久保要藏

軍艦伏見動靜

帝國軍艦伏見は二十六日漢口に來航したり（漢口電報）

印度の豪雨

廿六日大阪入電に依れば印度べ…州は又復豪雨あり降雨量三時に達せるが被害の程度不明也（大阪特電）

瓜哇糖買付

廿六日大阪入電＝英國政府は瓜哇糖十五萬噸を十、十一、十二月積價格九ギルダーにて買付けたり（大阪特電）

下村民政長官

下村臺灣總督府民政長官は來る廿八日臺灣神社大祭へ御參拜の北白川宮殿下御出迎の爲め廿七日朝門司入港の商船亞米利加丸にて門司着同船にて神戸へ向へり（門司電話）

宮木全南長官

全羅南道長官宮木又七氏は廿六日夜十時入港關釜連絡船對馬丸にて釜山上陸同十一時發列車にて光州に歸任せり（釜山特電）

西村一銀支店長

第一銀行京城支店長西村道彦氏は廿六日入港對馬丸にて釜山上陸同日午後十一時發列車にて歸京せり（釜山特電）

總督西鮮視察

長谷川總督は高橋武官、齋藤副官、神田秘書官、藤波通譯官を從へ鈴木度支部長官帶同二十七日午前八時三十分南大門驛發汽車にて西鮮視察の途に就けり今回は開城、兼二浦、廣梁灣等を視察すべく往復期間は三日の豫定にて二十九日午後三時南大門驛着歸京の筈なり

總督邸祝賀會

十月一日は始政七周年記念日なるより長谷川總督は同日正午より京仁間主なる官民を龍山官邸に招待祝賀會を催すこととなれるは本紙既記の通りなるが二十七日總督の名を以て官廳側は總督府並に所屬官署の勅任官以上及び各課長、民間側は商業會議所評議員、府協議會議員、學校組合議員、重なる銀行會社の重役等約四百名に對し夫々招待状を發せり

管轄區域變更

府郡島管轄區域變更の件は二十八日の官報に依り府令を以て公布三十日より實施の事となれり其の變更地左の如し

一、全羅南道務安郡押海面羅佛里を同靈巖郡に
一、同道同郡同面達里溜下島を同道海南郡に
一、同道靈光郡洛月面靈芝里及び鵲島里を同道務安郡に
一、同道莞島郡郡外面唐仁里於佛島を同海南郡に
一、同道靈巖郡始終面半湖里を同務安郡に

駐鮮滿鐵理事
久保氏説有力

政府は東京電報の如く新に先任の滿鐵社員久保要藏、川村鉚次郎の兩氏を理事に任命したるが併鐵後席は空位の儘なる京城駐在滿鐵理事は多分統一の際數回來鮮し鮮鐵經營の實行に關係深き久保理事の選任を見るべしとの説有力なり又一説には山東鐵道の監理部長たりし藤田理事が青島民政實施の結果青島引揚げの事となりしに付同氏の來任説も稱へられつゝあり

鮮銀の小額手形放出
鮮内補助貨不足救治の一策

▲補助貨の缺乏　朝鮮に於ける補助貨は朝鮮銀行券の膨脹に伴ひ其の流通額の增大せざると一方缺乏の警聲實以上に喧傳せらるゝため、補助貨所持者は反つて之れを手放さゞるに至る等の諸種の原因により不足の度近時益々甚しく爲めに一般商取引上の故障少なからず然も日本銀行内本金庫より朝鮮に對する補助貨廻送豫想は年内に於て鮮銀内支金庫請求の約五分の一弱にも達せざる狀態にあるを以て既に某々地方に於ては一種の小額信用手形類似の發行を企て一時の急を逃れんとするあり要するに何等か此際救治手段を講せざれば地方取引の圓滑を缺ぐのみならず雜然たる小證券の地方市場に出現を見るに至るやも圖られざる狀態に立到れり

▲手形放出額豫想　依つて其の補助貨不足救治の一策として度支部當局は朝鮮銀行當局と協議の上二十六日より新に鮮内各本支店をして一般取引先の請求ある場合に限り現に滿洲に於て鮮銀の發行し居れる小額仕拂手形（五十錢、二十錢、十錢の三種）を放出せしむる事となり既に其の仕拂手形は市場に出現し初めしが今後幾干の放出を見るべきかは豫斷し難きも事實に於て鮮内の補助貨は七百萬圓上流通し其の不足は左程大なるに非ず此の際約七八十萬圓の補助貨を撒布せば刻下の窮狀は救治し得らるゝものと鮮銀當局にては觀測し居り一方今後も若干の補助貨は本金庫より廻送し來るべきに付旁々鮮銀小額手形の放出は一時增進すべきも結局年内に於て朝鮮に約三十萬圓内外の流通を見るに留まらずやとも稱されつゝあり、但朝鮮銀行にては市場の小額手形の要著しく增進するも其增進に對しては十分發行し得る準備ありと

▲放出の形式　附上鮮銀小額仕拂手形の放出により鮮内の補助貨不足は必然或る程度まで緩和さるべきが其の發行の形式は如何と云ふに元來鮮銀の滿洲に於ける仕拂手形發行は總督府より滿洲に限り之れを許可しあるものにて今回の鮮内放出は右許可の指令に「朝鮮」の二字を加へられしものに非ずとの事に付其の形式は滿洲に鮮銀にて發行せる小額手形が朝鮮に流入し來れるもの……現に國境地方の鮮内には盛んに流通しつゝあり……と解するの外なき如し旁信用ある鮮銀にて小額手形を發行すれば各地に計畫しつゝある小額信用手形類似の發行は素より立消へとなるべく又總督府にても其の流通を止むるの必要ある場合は鮮銀に一令を發するのみにて回收は速やかに實行せらるべきを以て刻下の補助貨不足救治策としては最も適當の處置ならん

辭令

叙高等官三等五級俸下賜 正七位 金然尙
任郡守叙高等官六等八級俸下賜 京畿道開城郡在勤を命す 總督府屬 李覺鍾
任郡守叙高等官八等十一級俸下賜 京畿道金浦郡在勤を命す 郡守 高源植
京畿道水原郡在勤を命す 郡守 閔元植
京畿道高陽郡在勤を命す 郡守 車錫敏
京畿道利川郡在勤を命す 郡守 兪斌秉
京畿道坡州郡在勤を命す 郡守 李鳳鍾
京畿道江華郡在勤を命す 道技手兵少尉勳六等 井部榮基
任營林廠技師 叙高等官六等八級俸下賜 總督府技師正七位 小泉昇平
任道技師 叙高等官七等十級俸下賜 咸鏡北道在勤を命す 總督府技師 古屋元輔
任營林廠技師 叙高等官七等十一級俸下賜 總督府技手 蓮見道太郎
任總督府技師 叙高等官七等十一級俸下賜 農商工部山林課勤務を命す 正七位 豐田四郎
兼任總督府技師 叙高等官四等 度支部稅務課勤務を命す 判事正七位 畑義三
依願免本官 叙高等官五等

川上理事歸期

東上中の川上東拓理事は二十七日朝東京出發二十九日午後九時南大門驛着列車にて歸任すべしと

辭令

二十六日附を以て左の通り辭令ありたり

咸鏡北道參與官正五位
任平安南道參與官 李範來
郡守從六位 叙高等官三等二級俸下賜
任咸鏡北道參與官 金寬鉉
郡守正七位 叙高等官三等四級俸下賜
任忠淸北道參與官 徐相勉

一寸永興まで（七）
京元線車中にて 李光洙

僕は此迄偉大な高原の秘景や偉美な三防の幽峡を叙した。但僕は十分之を叙する技倆を持たぬ。殊に幽峡の絶景等は僕でなくとも巧く書ける人もあるまいと思ふ。逍遙山は小金剛と云つたが三防の幽峡はもう少しで金剛山になれる所だと云ふ話しである。成程金剛山は此んなものかな而も之よりもずつと雄大でずつと莊美なものかなと思ふと急に金剛山が見たくなつた。其位の絶景なんだから僕の如き者に書けやう筈がない。僕は只斯う云つて置く。若し此の絶景が知りたかつたら來て見ろと。來て見たら幾度其の豫想より上なるに驚くであらう。

◇高原の寂しい情緒の花が草に混つて咲いて居つて其の側には紫色の何んとか云ふ淋しい花が咲いて居つた、彼等は騷いもじつとして居ないで音を振つて居る。

◇高山驛を過ぎたら松の木に氣を付けて御覽。其は氣品の好い老松があるよ。此の邊の松は如何にも立派だ。關東諸郡の海邊には此以上立派な形をした松があるさうだが此の邊のも平地の住民たる我々には一寸見られない代物だ。殊に釋王寺近邊の松は風致が高い。幾つかの丘陵と、其間を流れる細流とを背景とした松林だ、小さな二三の驛を過ぎれば海が見ね島が見ね、帆柱が見ね、そして櫛比せる細長い町が見ね、殊に山腹の松林の間に瀟洒たる石造の洋館が見ねる、是が元山府なのだ。商業の繁昌すること釜山に次ぐ大都會で、新興の都である。未だ年が若いだけに新義州で見る樣な空地や草原がある。景色も好く夏季の氣候も清涼だと云ふので、贅澤な西洋人達は能く避暑に來るさうだが夏からの僕は秋を迎へに來た樣なものだ。汽車は町の中を突き拔けて新市街の略中央なる元山驛に著く。此處が京元線の終點で同時に咸鏡線の起點だ。

◇十分許休んで正五時發の永興行きの車中の人となつた。此の汽車は京元線のよりもずつと狭い。七八年許前に平壤新義州あたりを徘徊つて居た奴だ。二等室とは云ふもの〻みすぼらしいこと甚しい。つまらなさうな數個の小驛をのろ／＼と訪問して正七時永興驛に著いた。薄暮の淋しい町の中を一人てく／＼歩るいて行つたら何んだか滿洲邊の何處かの町に這入つて來た樣な氣がした。

◇永興は實に李朝發祥の地で後方の山は聖歷山、川は龍興江と云つて孰れも龍だの、聖歷だの何れも王に因んだ名前である。朝早く起きてそぼ降る雨を傘で凌ぎつゝ龍興江の畔をぶらついたが大した感慨もなかつた。此の川からは鮭や鮎が取れる今日一日留まれば食へるんだけれどもそう安閑として居られぬので九時半の汽車で歸途に就いた。

◇何んと可笑な旅行であらう。凡て氣狂じみた旅行だが面白かつた。朝鮮鐵道諸線の中で景色の好い點から見れば恐らく京元線が其の隨一であらうと云ふ結論を得た事を永興行きの土産として君に上げる（完）

鯛延繩漁業實習

從來內地漁業者は延繩に海月を使用し鯛漁を爲しつゝあるも朝鮮にては未だ之れを爲すもの尠なかりしが今回京畿道廳にては傳習船二隻を忠南馬子島に派遣し實習を行ふこととし近日仁川出帆の筈

警部講習會修了

警官練習所にて開催中の第二期十九名の內地人警部講習會は愈々二十八日修了同日午前十時講習員に對し修業證書を授與すと

古海總長饗應

古海警務總長は二十八日午後四時憲兵隊司令部將校集會所に於て講習會の爲め入京中なる警部一同に對し茶菓の饗應をなす可し

建部博士歡迎會

建部文學博士は二十七日夜南大門驛著入京三日滯在の上元山方面を經て滿洲に出發の筈なるが在京新潟縣人有志は三十日午後六時より博士を花月に招待歡迎會を開く會費は四圓にて出席希望の向は土木局本間技師宛申込まれたしと

佛教視察團歡迎

李完用伯、權重顯子、韓昌洙男、韓相龍諸氏の發起にて廿八日午後六時より今回內地佛教の視察を終へ歸來したる三十本山委員長金九河師一行を長春館に招待し歡迎會を催す由

京城圖書館の休館

京城圖書館は曝書の爲め二十七日より向ふ十日間休館す可しと

三浦博士調査

文學博士三浦周行氏は總督府の囑託に因り釜山府內に於ける史料調査の爲め總督府屬葛城末治氏を隨へ廿八日來釜の筈なり（釜山）

齋藤聯隊長檢閲

守備隊檢閲の爲め來釜中なりし大邱步兵第八十聯隊長陸軍步兵大佐齋藤常三郎氏は二十六日午前十時三十分發列車にて晉州に向ふ（釜山）

松風嘉定氏來釜

朝鮮硬質陶磁器製造株式會社々長松風嘉定氏は廿六日朝入港高麗丸にて來釜大池旅館に投宿せり（釜山）

慶北一部長赴任

慶尙北道第一部長齋藤玄氏は廿六日朝入港高麗丸より上陸直ちに歸任せり（釜山）

仁川

▲幣原博士來仁　各地視察中の廣島高等師範學校長幣原坦博士は二十九日午前當地視察の爲め來仁すべし▲進明女學生來仁　進明女學校生徒六十名は二十八日午前來仁永宗島に於ける同校農場の實況を見學し即日歸校の筈▲工業傳習生來仁　工業專門學校附屬工業傳習所生徒第一學年生七十名は職員七名引率の下に二十八日午前八時五十分南大門發列車にて來仁工業實地見學の爲め仁川築港、鐵工所、公園、觀測所、無線電信所、製鹽工場其他を視察すべく同日午後五時三十分仁川發列車にて歸校すべし

大邱

▲道廳法院の增給　物價騰貴の影響に依り官廳、銀行、會社等に於ける薄給者の生活難に陷れるもの夥しく爲めに大邱に於ても銀行會社等に增給を斷行したるものありされば今回慶北道廳、大邱覆審法院、同地方法院檢事局、其他の下級官吏に對しそれ／＼增俸を實行する事に決定したりと▲大邱警察署檢閲　慶北警務部長服部米次郎氏は今回大邱警察署內外事務一切の檢閲を行ふ事に決し既に二十六日より著手したるが來る二十九日を以て全部終了の筈▲大邱學校組合會　大邱學校組合は近回新二小學校建築設計の完成したるを以て該工事請負入札の件に就き來る二十九日午後一時より府廳樓上に於て組合會開催附議すべしと▲名物觀風樓移轉　大邱上町警務部前に在る觀風樓は舊慶北觀察道時代よりの古き樓門なるを以て大邱府は今回約八百圓を投じ之れを達城公園の入口に移轉し保存せしむべく決定せり▲商議評議員會　大邱商業會議所は目下常務委員二名缺員に付き之れが補缺選擧の件に關し來る十月一日府廳樓上に於て評議員會を開催すべしと

上原氏退社

本社商況記者上原想助氏は今般一身上の都合により退社せり

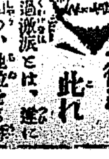
電報正誤

二十七日附東京電報[illegible]總督府說中新規拓法の實施を來年一月一日とあるは、九月一日よりの誤電に付正誤す

人事消息

▲堀柳暢氏（奉天新聞社長）二十七日午前八時半出發內地へ
▲牧山耕藏氏（代議士）二十七日夜南大門發
▲白井水城氏（辯護士）二十七日入京
▲早川新太郎氏（陸軍少將）二十七日朝入京
▲菅谷彪之助氏（內國通運參事）二十六日午後東京へ
▲大內暢三氏（福岡縣代議士）二十七日午前入京山本旅館へ
▲齋藤晉作氏（營林廠長）二十七日午前入京龍山高等法院長邸へ
▲鷄矢久三郎氏（關稅課長）廿七日朝東京へ
▲賀田金三郎氏（永登浦皮革會社重役）二十七日午前東京へ
▲マッニー氏（京城鑛山鑛業部長）二十七日朝長崎より歸任

彼れ此れ



○勞兵會と、過激派とは、遂にケレンスキー首相の、地位を動はんとす。コルニロフ將軍は、國家に反革命黨を絶滅して、國家及び革命を救はんが爲め、叛逆罪名を負ふて、挺身犧牲に甘んず。所謂眞の革命の犧牲者也。ケ氏亦革命を救はんとし、勞兵會と結び、て其の爲に殺されんとす。此の如武人と政治家との、出所進退に就て、何ものかを發見するは面白からずや。

○リガ方面の獨軍は、露軍を一掃して東進す。之れ獨軍の强きに非ず。露軍の弱きに非ず。畢竟卑劣なる個人主義と、高尙なる戰爭の使命を、理解せるものとの勝敗也。露軍をして、進んで戰はしめんには、非戰個人主義の絶滅にあり。

○南北兩軍は、湖南衡州に於て遂に衝突せり。陸榮廷の懸想は、愈々南方派を、結束せしめたるものゝ如し。殊に陸が、其の一子常光に、一個師團の精銳を附し、先鋒として、北伐出征を命ぜしは、南方派をして、所謂の膽を堅めさす上に於て、千萬語の議論に勝る事幾千百倍ぞ。

補助貨難を救ふために
鮮銀で小額仕拂手形を發行した

銀貨と銅貨の不足、乃ち補助貨缺乏の聲は内地もヒドイが朝鮮は一層烈しい、地方によつては

◎一圓券を 二つに切つて五十錢に通用し又は切手を釣錢にあてゝゐる所もある、電車、小賣商人、會社や工場や鑛山などで多數使用の日給者に勞銀を仕拂ふ所は痛切に銀銅貨の不足を感じてゐる、釣錢に

◎銀銅貨を とるため大きな札を態と出して買物をする人が多かつたり、全く小錢が失くて商賣の出來ない所もある、で、平壤や木浦などは商業會議所で小額信用證券を出しそれを

◎其の地方 丈けで流通させたらどうだと云ふ話迄さへ現はれて來た……何分此春頃迄補助貨は銀行券の二割乃ち鮮銀券の三千五百萬圓に對し七百萬圓ばかり流通してゐたのに

◎此頃では 銀行券は四千七百萬圓になつたのに補助貨は矢張り七百萬圓乃ち一割五分だからそこに一割に補助貨不足の聲の起るのは當然である。それに銀銅貨が足ぬ〳〵と云ひ出せば持つてゐる人はかくす傾きがあり

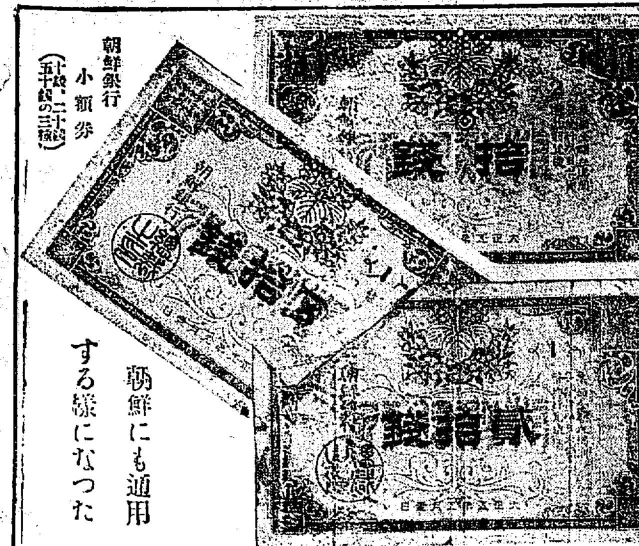
◎之れから 米や豆が出廻るのだから其の買出し用にウンと一人で貯めてゐる者もないでない、從つて鮮内の補助貨不足を救ふには銀銅貨を大に放出するのが最良策だけれど、大阪造幣局の鑄造が捗どらず、捗どつても本金庫からの朝鮮廻送は頗る少ない、で總督府當局は

◎朝鮮銀行 と協議の上、小額仕拂手形(五十錢二十錢十錢の三種)昨年鮮銀が滿洲で發行してゐる小紙幣類似)を二十六日から朝鮮にも放出させようと云ふ事となつた而して其の發行は鮮銀各店とも一般の請求に應じて出すと云ふのだから今後ドレ位發行が出來るかは

◎豫知し難 いけれど其の鮮銀小額手形の發行と云ふ事は發だけでも補助貨不足の緩和に効あるべく況んや現貨に市場にドシ〳〵出て行くのだから一般市場の補助貨難は

◎大に救治 される事であらう因に小額手形は十錢二十錢五十錢と云ふ額面で紙も精巧な印刷がしてあり立派な紙を使つてあるから銀行の手形印刷に費やす金は少なからぬもので十錢券の如き發行してから一千五十回もせねば印刷費の回收が出來ず五十錢券で

◎日歩二錢 で計算しても二百日以上を回收に要するらしく鮮銀としては此の發行は可なり損失ものらしいけれど一般市場救濟のためとあれば止むを得ないとある幹部は語つてゐた



朝鮮銀行 小額券 (十錢、二十錢、五十錢の三種)

朝鮮にも通用する樣になつた

兇賊と憲兵の大格鬪

京畿道高陽郡龍江面孔德里崔鼓學方門内に九月二十一日夜一通の脅迫狀を投入したるものあり文面には同夜現金百圓を同面新倉峴の盗家に持參すべし萬一應ぜざれば放火して家人を鏖殺すべしとのことにて其の申告に接したる京城分隊東幕派遣所にては時刻と場所とを見計ひ憲兵が前記の公家に潜伏して賊を待ちゐたるに案の如く一名の曲者來れるより誰何して取調べに着手したるに早くも抵抗を初め茲に大格鬪を演じたる末遂に逮捕して引致し嚴重取調べの結果賊は京城府桃花洞の張基壽と言ひ引續き取調べ中なりと

早稻田大學新理事五名

早稻田大學新維持委員會開會の結果半沼淑郎、内ケ崎作三郎、德永重康、吉田東伍、宮田修の五氏新たに理事に選擧せられ校規改正まで其の任に在りて校務を視る事となりたり(東京特電)

伊英間飛行成功

本月二十四日伊太利飛行家二名は伊太利英國間六百五十哩を七時間二十二分にて飛行し長時間飛行の新記錄を作れり(倫敦電報)

八幡製鐵疑獄事件の火の手

福岡縣八幡製鐵所疑獄事件は既報の如くなるが其後火の手擴大し二瀬出張所書記川上積、淺島牛太郎請負業倉富德太郎等收監されたり(大阪電報)

博徒九名格鬪して捕はる

釜山富平町方面に近來賭博常習者多數集り夜を日に次いで大賭場を開帳し居ることを探知したる釜山署にては二十五日富平町一丁目渡邊某方に集まりて賭博開帳中を見て警官六名は一時に襲撃して踏み込めば十餘名の博徒は逃げ出す暇もあらず六名の警官と十餘名の賭博者と入り亂れて大格鬪を始めたるが不意の襲撃に度膽を失ひたる彼れ等は敵し兼ね遂に九名逮捕され三名逃走したり白晝の出來事とて此の騷ぎに附近の人々は何事ならんと驅け集り非常の雜踏を極めたり(釜山)

夜の倫敦に爆彈を投下す
▲敵飛行機英國南海岸を襲ふ

敵飛行機は二十四日夜イングランド島南海岸を襲撃し内二三臺は倫敦市街に來襲し爆彈を投下したり

二十五日朝リンコルンシャーに墜落飛行機現はれしが未だ其詳報なし(倫敦電報)

突飛な懸賞問題
獨帝を生擒つたら賞金五千弗

シアトル市富豪チャルス、コーエン氏は獨逸皇帝を殺害し又は生擒したる米國兵には五千弗を同皇太子又は前獨相チルピッツ元帥、參謀總長ヒンデンブルグ元帥を殺害又は逮捕したる米國兵には各三千弗の賞金を與ふべきことを公約したり(桑港電報)

稀らしい大瀑布
慶南圓寂山中にて發見

野津釜山憲兵分隊長は過般管内梁山郡出張中梁山の北一里通度寺に通ずる道路上より約半里の東方圓寂山の中腹に當つて朝鮮にて稀れなる一大瀑布を發見せりと其の談に依れば

▲飛瀑は三段に 岐れて最上位の高さ七十尺、幅十六七尺に及び其れに次ぐ各二段共高さ何れも三十尺に達せるものなれば總ての高さ實に百三十尺に及べり而して更に總督府の技師出張して實査したる結果に依れば朝鮮第一の飛瀑にして彼の金剛山の如き到底同日の談に非らず附近に住む鮮人古老の談に依るも旱魃の際は常に此

▲瀑布に祈願して雨乞ひを爲すと云へり斯くの如く本年は實に三十年來の大旱魃なるにも拘らず此瀑布のみは水勢轟々として盡くるを知らず然も附近の山色は樹木鬱蒼として奇岩屹立し所謂崇高偉大なる景觀を呈し居れり殊に其前面暗きと云ふ有樣にて大自然の崇嚴なる偉觀は觀る者をして敬服嘆稱の靜を禁じ能ざらしむべく屏風の如き長さ約百尺の巨岩突兀として飛瀑の中腹を壓し或は圓頭形の巨石巧みに配列して一層の趣きを添へる等なか〳〵に捨て難き風致ありと(釜山)

合鍵賊は雇人

京城中林洞生れの李泰善(三二)は前科二犯の曲者なるが共犯と共に太平通二丁目伊藤商行事土方某方に雇はれ中西小門町所在同家の倉庫を合鍵にて開き本年五月二十一日より前後五回に在庫中の葉煙草十七俵(三百六十圓)を荷車にて窃取して百七十五圓に賣却し其の後同居より作業服雜等七十八圓許りのものを窃取したること發覺し泰善は本町警察署に逮捕さる

二千圓を詐取

黃海道海州郡松林面一里李古長(三〇)は外二名と共謀し同道登津郡龍淵面高麗里文德品より同人の土地十三日半耕及び二石十斗落を擔保として金二千圓の借入れ方を依頼されたるより龍淵面長の職印を僞造し之れを捺押して不實の申告をなし土地所有權の保存登記を受け之れを使用して海州東菜町崔道植より金二千圓を借り入れて橫領消費したると發覺し古長は九月十日海州警察署の手に逮捕されたり

高等女學校舍監投身自殺

新潟縣立高田高等女學校教諭兼舍監土肥ゆき(三一)は二十五日未明突然日本海に投身すとて行衞不明となれり(大阪特電)

獻穀の修祓式

朝鮮より本年の新嘗祭に獻穀すべき稻田の奉仕者釜山鎭佐谷流太郎氏は稻苗後專ら栽培に力を盡したる爲め既に成熟したるを以て廿七日午前九時同稻田に於て刈初松府尹其他參列の上農具の清祓式を行ひ鎌入を爲し來る十月九日釜山龍頭山神社にて修祓式を擧行し十日總督府へ提出し宮内省へ獻上の筈なりと(釜山)

婦人賊を捕ふ

京城黃金町四丁目林在學(四七)は九月十九日黃金町二丁目飲食店岩田仙太郎方に侵入し與餘湯沸し外二點を摸つ攫ひ逃走せしも追跡したる仙太郎妻はるに取押へられ本町署に突き出さる

傳染病

京城芳山町の砂山を徘徊中なりし乞食尹俊三(四三)は二十六日赤痢、櫻井町一丁目九十八番地藤井ふみ子(九)は二十六日赤痢、通學中なる櫻井小學校は消毒せり、西小門町八十二番地澤田りつ(一七)も同日赤痢と診斷、旭町二丁目三十一番地中西奎治(二八)は廿七日腸窒扶斯と診斷何れも入院加療中

棋界の名手來る

本因坊三段の山平寄氏は哈爾賓に赴きたる歸途滿洲各地を經て此程來京したるが同氏は當分市内吉野町一丁目四十八番地山氏方に滯在して有志者の希望により出教授の爲めに應ずべしといふ

高女生徒遠足

京城高女學校にては秋季遠足として二十八日午前八時同校出發四年生及三年生は仁王山に登り二年生は白岳山に三年生は鷺梁津より大觀山の水道水源地を觀各午後二時乃至三時半までの間に歸著すべしと

●連鎖劇開演延期 二十七日夜より開演の筈なりし義士魁家喜劇團は映畫の稅關手續の都合により二十八日開演の事となるべし

お杉の道行
相手は鮮人青年

□……誘惑から墮落の淵へ(一)……□

數日前の土曜日の午後、京城本町警察署の受附口に素晴らしい扮飾のハイカラ美人が現はれた、年頃は十七か八、未だ九にはならまい、頭髮のものから着物の柄合すべて仕立に上品なこしらへ、殖民地一流のけばけばしい挑發的な扮飾とは自然趣を異にし何處か垢抜けのした然かも落着きのある態度である。眼鼻はじめ一同の視線は期せずして此の若い優雅な女の姿に注がれた。一唯だ是れだけならば何も仰々しく書き立てる價値もないが、秋につらう花の色見よ彼女の面には不安の色が漂うて居るではないか、あゝ美人薄命の譬もあるもの然か色か、兎も角も尋常に何節かの秘密がなくてはならない。

□　□　□　□

女は茨城縣久慈郡幸久村德田藤三郎の二女すぎの(一八)といふ實際は同姓千代太郎の娘であるが事情あつて戸籍の方は藤三郎の娘としてあるとやら、處がこのすぎの叔母に東京本所區綠町四丁目河合直太郎の妻てつといふ者がある。藤三郎はすぎのを何うかして一人前の女に仕立て度いといふ所から、すぎのが十三の時

◎女中見習

と云つた格でこの叔母の家に預けた、親心の一助に東京は怖ところ恐ろしいところとばかり思つて居つたのは天下泰平、格別の事も後もなかつたが、何れと云ふに從つて誘惑の魔の手は色んな形をなして純な娘の心に忍び寄る、すぎのは數年經たぬ間に早や立派な浮氣女となり、肉身の叔母が儀悲な心の國の日を滿つて只管に

◎歡樂の影

を逐ふ女となつた。是から先斯うした女の辿る徑路は大抵極つて居る、彼女も終に堅氣な叔母の家を飛出して神田の武神羅紗店から深川の料理屋、伊勢平樓、伊勢平樓から麴町上六番町は某伯爵邸へと異のやうに移して歩いた。伯爵邸では小間使をして居たが、一箇月も經たぬ中に

◎華族屋敷

の女中としてはお揃ひ箝となつた、物騷いざのは偖りに不仕合であつた、我儘であつた[illegible]

□……[illegible]

男女は終に抜きも差しもならぬ深みへ陷つて了たのである、青年は平素「私は朝鮮へ歸ると思ひますが何んならお道伴になりませうか」――こんな會話が端緒となつて

◎紺の詰襟

に麥稈帽といふ姿、東京へ留學して居た鮮人で手としては全く意外な代物、然し是はまつ枯らしのすぎのの相手である、磨れつ枯らしのすぎのの[illegible]なものである、其の青年名は[illegible]と云ふ

□□□□

……八月三十日の夜、東京驛下……[illegible]

◎見越の松

といふ身ぞ……彼女は八月二十三日といふに突然姿を晦まし……伯爵邸の小間使……何の爲めの家出か更に判らぬ、總てが謎である

□□□□

……[illegible]

◎話し相手

になつた「貴女何處までお出でになります」とさすがに世話し……鮮人青年の……と云ふ……「何處と云つて的もないのですけれど、朝鮮へでも行つて見やうと……

讀者文藝(二等三十錢)

△謎(寫眞と懸けて) 聯隊の番號と解く心は古いもの程若い(一等) 元山 善兵衞

▲疝癪と解く心は屈(肥)ないな惑む 京城 浪 史

▲醫者と解く心は先づ位置を見てから[illegible]

▲人形芝居と解く心は顔は見ゐるが話しが出來ぬ 利川 守川いさむ

商況

債券現物特電

二十六日(東京) [illegible]

公債值取引

二十六日[illegible]

深川作米特電

二十六日[illegible]

東京期米特電

二十五日[illegible]

大阪株式特電

種類	拂込	前場	二十六日後場
宇治川水	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大日本紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日清紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋汽船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
堂島米穀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

二十七日前場 [illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

二十七日前場 [illegible]

雜報

●三品と棉安 [illegible]

●米棉一圓三十錢 [illegible]

十八錢 [illegible]

十三錢方 [illegible]

●雜紗活況 [illegible]

需用に生(じ)たれば[illegible] 意外の方面に新[illegible]

万落 保合のまゝに[illegible]

海外市場はまた八分

●石油値上げ 各社十錢方の値上げ發表 更に第一回の値上 會社側に於て十圓の値上げ發表 一百六十圓乃至二百六十五圓

●漸く買氣を進む に地方商人も頃來

●南大門の廻穀

●釜山穀況(廿六日)

●方の騰貴 [illegible] 哈爾賓仕向

●正米持合ひ 高値迴著一段落 告[illegible] 高値不引合 限先と離絕對强 氣は持し難き

●新米弗々出廻 十九圓より十九圓七八十錢の間に取引行

●綿布小戻り

仁川期米

二十七日前場(軟弱) [illegible]

十七圓五[illegible]

十八錢と一錢安に

寄付[illegible]大阪天候晴

昨止より十三錢安の入電

大阪の跡 小安き入電 五十四錢 大阪六節 〇七錢七節二十 圓九十八錢と安移

ナ 仲買店 仁川米豆取引所仲買人

仁川米豆取引所

廿七日の十一月限

生魚市場

釜山水產市場(二十六日)

各地商况

△群山正米(二十五日)

●大邱 正米(二十六日)

イ 仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎

市場雜聞

▲保合小鈍し

人氣は一面上米の介強し

▲中限解高内

滅少

大五仲買店 仁川米豆取引所 店主 猪飼收太郎

▲大阪益軟弱

愈軟弱に陷り

感つて天候を無視

▲納寄せは何時

遂に百九十三丁

限月の接近

仁川 仲買店

●關釜連絡客貨 其の筋の調査に依る七月中の關釜連絡客貨[illegible]三十一回さくら三十回計百二十八回朝鮮行內地行とも各六十回を算し郵便物個數二萬三千百九個にて乘[illegible]斤數百四十五萬三千六百八十三斤[illegible]客貨金七萬八千八十圓餘に上れり

二十六日午後十時釜山入港對馬丸 一等[illegible] 二等四十六名[illegible]

(讀者文藝)課題及募集規程 [illegible] 同形の用紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事[illegible]

天氣 晴れ時々曇り

朝鮮の陸地棉 前途益々有望なり（二）

過去十二年間朝鮮に於ける栽培＝普及＝奨勵の跡

◆茲に於て乎朝鮮に陸地棉の蕃殖を圖り以て我が國に於ける棉花工業の原料不足を補はんとし明治三十八年四月の交、原敬、大石正巳、大岡育造、鳩山和夫、野田卯太郎、岡崎邦輔、酒田常郎、森田茂吉、月田藤三郎其他朝野名士の主唱に依り棉花栽培協會の設立を企畫するところとなり同時に農商務省に交渉の上農事試驗場技師安東慶太郎氏を全羅南道に派遣し木浦、榮山浦、羅州、光州、群山等六箇所を選び陸地棉の試作に從事せしめたり、其の結果極めて良好にして陸地棉が朝鮮の風土に適することを證明し且つ在來棉の如きも其の栽培法を改良するに於ては尚ほ充分なる成績を收め得るの難からざるを確認し遂に之れが

◆普及奨勵の根柢を樹立したるなり、斯くて同年七月に至り棉花栽培協會創立總會を開き貴衆兩院中有力なる議員、農商務省、外務省の關係者、有力なる民間當業者、當時韓國政府各大臣等を網羅して評議員に野田卯太郎、角田眞平、荻野芳藏、庄司乙吉の五氏を理事に推薦し以て同協會の組織成るに及び恰も全羅南道各地に於ける陸地棉試作成績の良好なりし爲め當時韓國政府の顧問目賀田種太郎氏に交渉し同意を得て其の翌年より向ふ三箇年間韓國政府より十萬圓を補助さるゝこととなれり、其後同協會は事業の實施を圖る爲め屢々人を派して實地を調査せしめたる上陸地棉を普及せんには種子を潤澤に供給するの必要あるを以て

◆棉採取圃の設置を急務とし主要棉作地たる全羅南道に十箇所の土地を選定し同年五月より事業を創始せり、之れ即ち朝鮮に於ける棉花栽培事業奨勵の端緒ともいふべく斯業開發上忘るべからざる事に屬す、當時棉花栽培協會が棉採種圃を創設し事業を開始せんとするや農民は徒らに危惧の念を抱き自己所有の土地を掠奪せらるゝものゝ如く誤解し百方勸誘に努むると雖も土地の買收は勿論、貸付にも應ぜざる爲め技術員等は播種の時機を失せん事を憂へ之れを時の觀察使又は郡守に訴へたるに表面之れを承諾し裏面に於ては農民を强迫して協會の事業を妨げんとする傾きありて實に言ふべからざる困難を感じたりき、されば協會に在りては獨力にて實地の指導經營に當るは

◆特別なる資金を要するのみならず事業進捗上便宜を缺ぐの不利なるを以て明治三十九年七月に至り遂に協會は之れが經營を勸業模範場に委託したるが其後二箇年を經過したる明治四十一年に至り臨時棉花栽培所官制發布さるゝと共に該事業は全部臨時棉花栽培所に繼承し更に明治四十五年に至り棉花栽培協會は當初の目的を略々遂行し得たるの故を以て一先づ解散する事に決し同年三月を限り從來の事業は擧げて朝鮮總督府に繼承したり、而して朝鮮總督府は前年十月總督府官制發布と同時に從來の

◆臨時棉花栽培所は之れを勸業模範場をして經營せしめ次で大正元年には勸業模範場に屬せし棉花採種圃の所在道廳の所管に歸し支場は專ら棉作に關する試驗、調査及び所規の輸入陸地棉種子の馴化に努めたる外其後各道當局に在りては生産品の販賣に際し耕作人を保護する上に於て共同販賣制を採り奸商の買收を不可能ならしむる等棉作指導奨勵の爲め日も尚ほ足らざるの狀態を持續したる結果一般に其の有利なるを知悉すると共に農民は殆ど自發的に陸地棉の栽培を擴張するもの續出し以て今日の盛況を呈するに至れるは朝鮮産業開發上洵に喜ぶべき現象なり

◉御陵の警戒

以前は御陵の陪塚と知らずに發掘する樣な場合が往々あつたが近來になつて特に多い傾きがあるそれには故意のもあつて成金連が金の捨場に

◆困つた果が古器物などを愛翫する關係から發掘するのもあり中には昔から何等の口碑も傳說もなく只丘のあつたのを開墾して見ると其處から思はぬ土器や鐵器の現はるゝことがあるが之等に對しては何れも

◆相當の制裁のあることは言ふまでもないが現在大阪府下には御陵の數十九陵ある御墓と稱する普通平民の墓でない由緒ある人々のが六ケ所あるそれから種々傳說を有する地は二十二ケ所[illegible]史其他の參考資料に供すべき土地は二ケ所の

◆總計四十九ケ所あるが御陵は言ふまでもなく私有地はないが參考地とか傳說地には往々私有地がある然しこれも傳說地及は參考地御墓となつて居る土地は其筋の許可を得ずして

◆勝手に發掘することは元より許されぬ許可を得て始めて發掘に着手するのであるが中には自分の土地を自分に處置するのだなど、誤つた考へを起して發掘した爲に處分された例も少くはないが之れ等は國家の上から言つて

◆大なる損失となる場合も多いから其筋でも常に注意をして過らない樣に警戒して居るが現在府下四十九箇所の御陵、御墓、傳說地、參考地に對しては警視一名、警部八名、警部補十六名、巡査部長十五名、巡査三十九名を以て警戒に當らしめ尚ほ場合によつては增加する方針であると（大阪）

◉一夜に二網

慶北金泉錦町に居住せる原籍熊本縣飽託郡高橋町志賀藏次郎（三二）同愛知縣渥美郡二河村藤田子四郎（三一）同島根縣飯田郡赤谷村海老繁一（一八）は同町居住原籍香川縣三豐郡財田矢野良平方にて花札を持ちて賭博中金泉分隊附憲兵に踏み込まれ引致取調の上矢野良平は賭博の宿を爲したる廉に依り科料五圓他は各々科料十圓に處せられたり又同夜十二時頃同黄金町居住裴服淑（三こ）殷尚基（三こ）鄭之弼（五こ）の三名は同町朴武白方にて骨牌を弄し賭博中なりしを同地分隊附憲兵に引致され各々笞刑三十に處せられたり

◉釜山穀物總會　釜山穀物市場にては本月廿六日午前十時より同市場事務所に於て臨時總會を開き（一）十月一日より同市場午後市の件（二）經費金徴收法改正の件（手數料）を附議せり

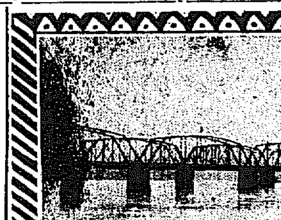
◉鎭南浦消防發會式　京釜線鎭南浦に於ては今回新たに内鮮人合同の消防組を組織し去る二十三日午前十時より發會式を行へり當日壽山警察署長外官民有志の參列多數、組長に高廣氏副組長に石川氏を推薦し消防演習を行ひたる後宴會に移り夜に入りて散會したるが同地未曾有の盛會なりしと

◉晉州神社大祭　豫て建築中の晉州神社は落成せしにより十月十三十四日兩日に亘り豫祭一千圓にて盛大なる鎭座大祭を擧行する由市中一般は種々なる催物をなす筈

◉馬山自動車開始　中谷勝郎上氏が購入せし自動車は十月十五日馬山著の豫定故同日は試運轉をなし十六日より營業開始をなす由

再擧廻遊觀月會

九月廿九日（土曜）舊暦十四日
再擧仲秋明月夜盛大に開催


（漢江人道橋上の月）

（清涼里の月）

◇號砲　晴天なれば廿九日午後四時漢陽公園に五發の號砲を打揚げて開會を報じ

◇順延　雨天若くは曇天にて中止翌三十日（十五夜）に順延の時は一切號砲を放たず

◇發車　觀月列車の南大門驛發時間は廿九日午後六時四十分。乘遅れなき樣願ひ升

◇會場　觀月會場は城東清涼里（長春館支店の裏丘）内鮮餘興澤山。各種賣店あり

◇電車　解散は午後十時過ぎ歸途電車券は清涼里を起點とし龍山、麻浦迄宜しい

◉手の長い宿引

愛媛縣北宇和郡愛知村字清水生れ當時住所不定吉田計良（二八）は本年八月二十九日より大田本町一丁目千歳旅館に雇はれ宿引きに住み込み居りしも根ッから役に立たぬので九月五日限り暇を出されたるも差し當り行く處がないから今一日丈け置いて下さいと頼み其の夜外出して歸りて後女中部屋より女中平原その所有の現金六圓五十錢と千歳館の印入り厚司を竊取したる事判明し其の筋に逮捕せられたる上公州地方法院大田支廳にて之の程懲役八箇月に處せられたり

渚の砂

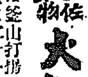
◉執念深い女　鹿兒島縣川邊郡[illegible]村久保なつ（二六）は[illegible]弟と關係し夫な[illegible]斬り殺すとて短刀[illegible]自分は舞台[illegible]

◉決死で嫁入　[illegible]（二五）は[illegible]路執の[illegible]入り[illegible]を[illegible]の強さして入り娘から[illegible]遂に自殺した

◉自稱仙人　肥前北松浦郡中[illegible]村[illegible]（六八）は三十三年間[illegible]の[illegible]で[illegible]の野[illegible]の仙人なし[illegible]

◉人妻を斬る　東京深川[illegible]工藤信一郎（二六）は二十四日夜同町の仲間鈴木新太郎妻くま（四五）に斬りつけて負傷を負はせ逮捕に出張して來た巡査を又手に血刀を振つて抵抗したが遂に組伏せられた

大相撲



土佐闘犬會は釜山打揚後大邱に乘込み錦座に於て二十一日より開演せり土佐犬の大相撲巡業は今回始めての事とて物珍らしく初日以來大好評にて大入を續け二十五日金泉に向ひたるが大邱に於ける三日間の主なる勝負左の如し（備考○印は勝●印は負）

初日
（東）○横車（腕くわへ）●初櫻　○男山（耳くわへ）●三つ岩　○緑山（頸くわへ）●[illegible]島　●加勝山（にげ出し）○玉の森　●玉勇（追ひかけ）○早天狗　●錦川（咽くわへ）○梅の川　●萩日山（[illegible]くわへ）○金花　○大天狗（にげ出し）●土州山　預鬼龍山（にげ出し）預太刀勇　○二所ヶ關（にげ出し）●勇駒（西）

二日目
（東）預四つ車（にげ出し）預淀川　○錦山（頸くわへ）●一の濱　●玉龍（追ひかけ）○金の花　預若戎（にげ出し）預立川　預花車（にげ出し）預日本龍　○敷島（耳くわへ）●錦灘　●勇雷駒（にげ出し）●緑ヶ山　○鬼龍山（追ひかけ）○琴島　●加勝山（にげ出し）預梅の川　預[illegible]（にげ出し）○玉の森（西）

三日目
（東）○男山（耳くわへ）●金龍　●横山（にげ出し）○初の櫻　○玉車（押へ付け）●玉の井　○緑森（咽くわへ）●金ヶ[illegible]　●朝山（にげ出し）○琴島　○大天狗（耳くわへ）●早天狗　○銃川（頸くわへ）●太刀[illegible]　●玉勇（あげ）○勇[illegible]　●鬼龍山（にげ出し）○十州　○二所ヶ關（押へ付け）●梅川（西）

東京から朝鮮へ

東京九段久保濱呉服店の朝鮮發展の第一步

東京へ御出かけになつた御方で九段坂を御存知でない方は御座りません東京の九段と申せば東京名所の一で名高い所で有ます國家に盡した勇士の靈魂を祭つた靖國神社は此坂の上に鎭座ましまして遠く近衞師團の營門を望み遠に玉の宮居を拜して御濠田安橋を渡て來る風は近く牛ヶ淵の香を運んで來ます水面を靜に滑つて來る清潔なる富士の嶺を後に眺め下は其昔廣重の描いた江戸の俤も何處へやら今は全く高樓大廈と化して開化の東京市街の大半を一目の内に納める事が出來ます朝の九段夕の九段さては月夜の九段と眺め遷し行く自然界の眺望はキネラマの樣に美しく市内眺望の冠たる所であります。又九段近傍には諸官衙や大學女學校等多く御座いますので朝夕の九段坂通行者を見る丈でも東京の繁昌の一端を伺ひ知る事が出來ませう此名高い九段坂下電車交叉點の前に聳ゆる白亞の館が即ち我久保濱呉服店であります好位置にある弊店は御客樣に買ひ良い樣に素客樣にそして親切な確かな品を安く賣ると云ふ弊店年來の主義と御客樣の多大なる御引立とに依りまして此處四五年間に市内同業者中目立て頭角を現す樣に大發展に向ひつゝあるのであります九段と云ふ場所が前にも申しました樣に諸官衙各學校に近い爲に學校を御卒業になつて御郷里に御歸りになりました御方樣が東京御在住當時御引立を賜りました弊店を御信用下さいまして常に御手紙で御注文を頂いて居ます又弊店の商振を御信用下さいまして御地方より御友達に御評判下さる方も年々ふえる樣な次第であります今迄の樣な設備では充分に御客樣に御滿足を與へたいと云ふ[illegible]此際一步進んで同時に地方より御注文に御便利を計り通信販賣部を設けて地方に在住の御客樣に東京に御出の時と同じ樣な御滿足を與へたいと存じまして參りました地方の御方が困難で[illegible]御注文を頂く[illegible]で隨分困却して御出になる御方が多いとの事で東京へ注文したいが東京には手引が無いとか又一度新聞廣告を見て東京の通信販賣業者に注文して受取て見ると現品と相違する粗製品を送り付けられて來るので一寸目になつた東京へは無暗に注文する事は出來ないと云ふ人が澤山ある確い店で便利を計つた新しく通信販賣部を設けて地方に居られる皆樣方に御便利を計つて斯く不自由を感じて居られる皆樣方に廣告して御出しましたら宜しいだらうと切なる御勸めに預りましたので今回本紙上に於て確い親切なる商品を安く御提供する販賣專門にして各地方に大々的の廣告を揭載して居ります現今東京に於て通信販賣業者がありますが其業者は中には多くの奸商が御座います東京の信用あるデパートメントストアーや大呉服店には確實なる通信販賣部がありまするがどうも[illegible]御注文遊される御方も貴重な用を投で居らるゝ東京の大店と云ふのは矢張り大なる費用を投ずる際に安心な御方も無い[illegible]大なる店員は一日に十時間以上[illegible]に於て働いて居る[illegible]の有る者もありますか[illegible]其の經費の節約を計り[illegible]東京のデパートメントストアー式大呉服店の流行呉服物を安く御手輕に買へる樣に[illegible]商業道徳を重んじ世界の大商店に抱負を以て居ります本當に安い[illegible]御客樣方に[illegible]して以來五十年餘では御座いますが我大日本帝國は明治初年に一度開國して[illegible]以外におりまして[illegible]業界を見ました名譽ある商賣を續けて居ります[illegible]道德を重じ此所に呉服通信販賣開設第一步のスタートを切て皆樣に御滿足を差し上げる確固なる自信を持て居ます[illegible]御注文の如何にかゝはらず一般家庭に備付の必要が御座いますから御ハガキ一枚ですぐ御送り致します

東京九段　久保濱呉服店通信販賣部

自園宇治茶賣出

◉玉露製　桃山 八拾圓　[illegible] 五圓　[illegible] 参圓　[illegible] 貳圓　[illegible] 壹圓　[illegible]　紅茶（壹封八拾錢）

◉煎茶製　大長久 壹圓　萬代 八拾錢　喜慶 七拾錢　大和 六拾錢　平和 五拾錢　小宇治 [illegible]　一文字 [illegible]　友白 [illegible]　上喜撰 八拾錢

◎金高貳圓以上の御注文には内地送料無料　◎小包毎に増量　◎御用命は御葉書にて速に發送仕候　[illegible]

定價表

世界一の銘茶
一服我勞を醫し食を消し二服能く心身を强健にす
御家庭、御進物、御接客用には本場宇治茶の御賞用に限る

本場宇治茶製造元　澤文茶園
（本店）伏見桃山（自園）宇治
電話六〇一・三三　振替大阪四〇九九
京都桃山　（澤文商店）（澤文茶園）

京城特約店　京城櫻井町一丁目　富貴園

運動會が近づきました
御子樣方の御用服は是非一度專門の弊店へ御用命下さい格好に調製致します何卒御用向の程御願ひ致します
小供服專門　京城本町一丁目　コドモヤ洋服店　電話取次三七九番

土地競賣廣告

一、土地所在　京城府七拾番地　[illegible]
一、場所　[illegible]
一、競賣入札期日　九月廿九日午後一時
一、入札書受付　[illegible]
一、入札期日　[illegible]
地主　武市昌久

内國通運株式會社京城支店長として在勤中は各方面の御引立を蒙り今回東京本社へ轉勤を命ぜられ昨夜出發致候處御見送の御禮も申上ぐ不取敢紙上を以て御禮申上候
九月廿七日　管谷駒之助

内地人員募集廣告

募集人員　金集貳名
一、年齡　廿五歲以上卅五歲迄
一、學歷　高等小學校卒業程度以上
一、身體　强壯にして集金に堪能なるもの
一、身元　確實にして保證人あるもの
試驗の上採用す志望者は來る十月二日迄に本人自筆の履歷書携帶の上本社營業課へ出頭せらるべし
大正九年九月廿七日
京城本町二丁目　京城電氣株式會社營業課

ホーカー白粉愛用者寫眞帖（三）　博多相生町　[illegible]

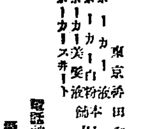
白さの賞讃！

貴婦人方
御令嬢方
女學生方
藝妓衆方
からホーカー白粉の「白さ」に就ては
これ以上の色加減は無いと賞讃されました

塗てから變色する樣な事は決してなく一日中美しいのが特長でムいます

煉製　ホーカー白粉
●定價一瓶（アーチ型箱入）金二十五錢　送料　内地無料　滿鮮三十錢

塗けて普通の白粉とは白さの異ふ……ホーカー白粉
最も自然らしい美しい白さに塗く……ホーカー白粉
東京中の白粉の投票第一等を占めた……ホーカー白粉
他の白粉にない美容劑の入つた……ホーカー白粉
洗つた後の肌理まで白くする新發見の……ホーカー白粉
肌アレ日ヤケを防ぐ學理上の作用ある……ホーカー白粉
これ以上の品はないと學者が說明した……ホーカー白粉
分析して他の如何なる品より品質の勝れた……ホーカー白粉
ノリノビの好いのを一番の特長とする……ホーカー白粉
塗けた後で白さが變色する憂のない……ホーカー白粉
一撫で厚化粧でも薄化粧でも思の儘な……ホーカー白粉
匂ひのいゝ事だけでも婦人の優婉を增す……ホーカー白粉



全國到る處に販賣す品切の際は振替又は三錢切手代用にて御注文下さい

ホーカー白粉本舖　ホーカー美髪液　ホーカースポート
東京神田和泉橋　堀越嘉太郎商店
電話神田（特長）一四三・一四四・一五五　振替東京一六

[illegible]新羅及びさくらの五隻を用ひ其の總噸數一萬二千三百二十餘噸にして航海度數は京畿二十二回對馬二十五回高麗二十回新羅[illegible]一等六百九十六人二等四千百[illegible]三等一萬八千三百十六人計二萬三千百九十三人に達し貨物噸數二萬七千四百四十一噸小手荷物[illegible]

◉連絡船上陸客（二十七日）午前九時十分釜山入港高麗丸一二等客　一等二十四名　[illegible]近藤貞[illegible]清水虎道[illegible]二等[illegible]外人二十名　三等百六十二名

三等百二十二名

□募集規程　▲用紙は端書又は[illegible]　▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係　[illegible]

豫報　[illegible]

[illegible]

左甚五郎

第三十九席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

甚五郎が仕事にかゝつたのは他人より十日遅れてかゝつて愈々出來した時は五日遅れた、五日先に吉兵衛仁兵衛喜三郎、御作事奉行菅川遠江守へ届け出ろ、三人の龍を下検分をなさる、イヤ何うも恐入つた、流石は日本で屈指の名人と云はれるだけ、何うも頭でも何でも細工が細密で、鱗滑にして精なぞの巧妙なること、何うして木で想う出來たものか、仕事をして居る内にヒヨツと粗忽で龍へ當りが悪くばポキリ缺げてしまふ様な密な細工である、御係りも感心を遊ばし下検分が相濟んで上首尾、なれど三方は出來ても一方が出來なければ叶んと甚五郎の龍の出來を待つ、前申した通り五日遅れまして出來に相成まして又々是を下檢分、甚五郎の出たのを御覧なさると是は何も三人のとは比べものにならない何だといふイケぞんざいな彫だか第一何も恐しい頭が大きくして龍が馬鹿に太く、是なら何氣遣ひはない、槌で打つても大丈に地に叩き付けても容易に缺ける犬と思ふ様な龍などはもう卿ねて居る、どんと彫りかけのやうだ、何うも是では取付けられないが、然し出來たと云つて届けたから是は叶けないと云ふ譯には叶かない乃で何にしろ入釜敷大久保老人が推擧をしたことですから靑山は一應大久保に尋ねて見やうと、彦左衛門へ話しました『斯様〃云々であるが、病氣の爲に遅れて仕事にかゝつた、然し餘り急いで思よ様に叶んのではないか、一應間合しては如何なものでござる』彦左衛門も是を聞くと彦『洵に恐入つた、然らば斯くいふ彦左衛門一見いたさうと彦左衛門が見ると、或程遠江守の云ふ通り是は甚いと思つたが、彦左衛門心中に一旦彼が逃も叶んからと斷りしを無理にさせたこと、慣れない仕事で思ふ様に叶んのであらう、彦『何れ御沙汰を申す』といふことで彦左衛門は引取り早速甚五郎を自分の屋敷へ呼びました、甚五郎其處へ出ますと彦『搭甚五郎、此度彼の鐘樓堂の龍が未だ五日や六日遅くなつても宜しいから、あれは[illegible]と宜くは出來んか 甚『何うも[illegible]して洵に宜く出來て居りまする 彦『ハア左様か、何だか判らんが俺の見た處では彫りかけではないかと思ふ 甚『イヱ左様な粗末なことはいたしません、我身ながらも宜く出來たと思ふ位 彦『デハ取付けて宜しいか 甚『ヘヱ差支はございません 彦『其方が見て宜く出來にと申せばそれで宜い 甚『此の筏お好みに相成りましても逆もあゝは出來ません 彦『オヤ〃大變なことだ、仕方がないから彦左衛門が遠江守へ對してお取付けになつて苦しふないといふ、洵に宜く出來た三人の中に此デコスケ龍が入るのですからお叱りを受るとは思つたが是非なく取付ました拐鐘樓堂の高欄へ摺で龍の昇天する處の形を取付て御覧になつて驚いた、甚五郎の西側の龍といふのは一と際目立つ御案内の通りあれは鐘樓堂の家根に乘つて見るのではないのですから、下の處へ來て背鐘堂の周圍から御覧なさる、遥か高い處へ取付けると鱗が悠う一枚々々に起きて居るのを下から見るのですから鱗の裏が悉皆見ゐて居る何うも蛇腹の恐しいと鴫居の端が洵に宜い、三人の龍は下検分の時に宜かつたが取付て見ると頭が小さい龍なぞは餘り細くいたした故判然と細工が判らない甚五郎のは取付けると、其のデコスケ龍がチヤンと相當して居ります、此は眞の名人とでも申すのでございませう、と玆に不思議な事が出來ました、それは何う云ふ事でございますか、次席に詳しく申し上げます

書畫用 紙畫絹
京染呉服商 たまや出張店
京城永樂町 電話二一九六番

新築落成
京城明治町一丁目
入院随意 胃腸病院 電話一六五
院主 佐々木杏造

九月廿九日九星
舊八月十四日甲戌
本命五黄八方除先負

▲五黄● 辻路〃する事有り[illegible] ▲六白● [illegible] ▲七赤● [illegible] ▲八白● [illegible] ▲九紫● [illegible] ▲一白● [illegible] ▲二黒● [illegible] ▲三碧● [illegible] ▲四緑● [illegible]

演藝案内

本町五丁目 稲荷座
▲大阪娘義太夫竹本榮昇一座
△來る二十七日より初日(毎夜午後六時開演)
▲御觀儀賀入船(入登)▲八陣八ツ目(岡吉)▲日蓮記三段目(駒吉)▲朝顔日記宿屋(初花)▲先代萩御殿(住二)▲阿波鳴門八ツ目(住升)▲攝州合邦ケ辻(榮升)▲太功記十段目(榮升)
△所作事大切 本櫻道行一二座
入場料一等三十錢二等二十五錢

京城本町 電話一〇五〇 壽館
主催 旭扇會、旭翠會
筑前琵琶大演奏會
△來る九月十九日(土曜)午後正六時より
法師山東京 旭扇師 旭翠師 別
△曲目 ▲護良親王(水心)▲名殘の櫻(旭春)▲菅公(扇嶽)▲大高源吾(旭翠)▲茶臼山(旭江)▲芳流閣(旭翠)▲扇の的(旭稻)▲楠中佐(旭洋)▲村上喜劍(旭貴)▲高田の馬場(旭玉)▲山崎合戰(旭彩)▲項羽(上)(水波旭子)▲名鏡日本號 坂井旭水 ▲廣徳寺(法師山旭翠)
▲入場料一名金廿錢(下足料共)

東京小林商會活動寫眞常設館 米國ユニヴアーサル會社特約
早川演藝部直營 有樂館 電話(略)二〇五番
▲日曜祭日晝夜二回開館▲
來る九月二十七日より特別公開
▲米國ユニヴアーサル會社作 ○活劇「綠石心」(全二十四號)
○新派連鎖劇「蛇いちご」(全六卷)

京城壽町 電話五七八番 壽座
喜劇連鎖劇義士廼家男女合同一座
▲喜劇 初 天下泰平 一場
▲喜劇 秋の七草 二場
▲連鎖劇 近頃河原達引 お俊傳兵衛 十八番物
一等七十錢 二等五十錢 三等卅錢 小供半額

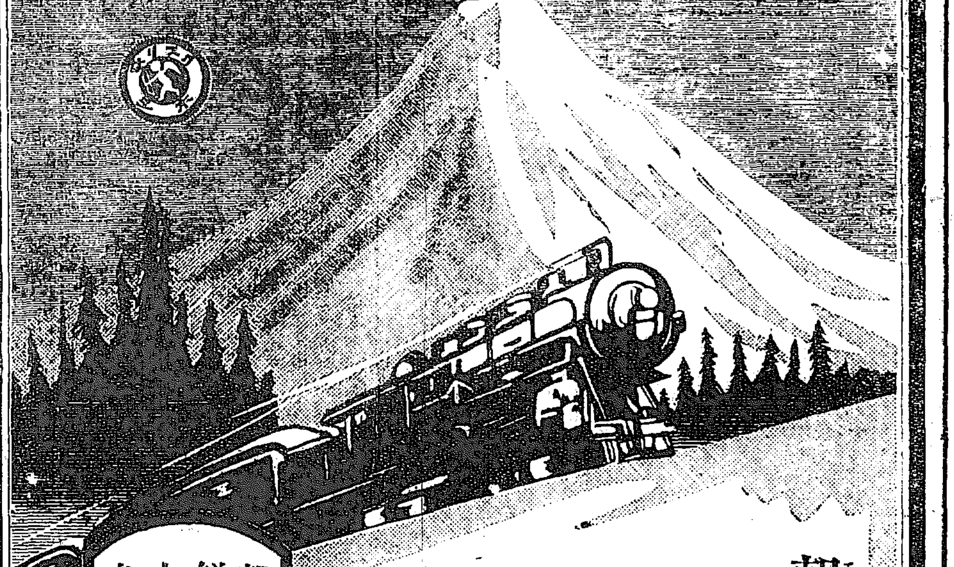
電話二三六三七 二三六六 黄金館
天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
○九月廿日より特別諸大興行 ○實寫 汽車旅行 ○滑稽 心の岩
▲新劇 日本銀次 全三卷
▲米國ユニヴアーサル會社傑作
◎泰西大活劇名刀(原名我軍來る)
▲大阪朝日新聞連載(社會欄)
◎中將家の秘密 改題「疑問の戀」

櫻井町 電話八七三 大正館
二十九日より提供の四大寫眞(入替特別番組)
▲米國キーストン會社傑作 ○滑稽活劇チヤプリンの芝居 全二卷
▲新派劇 穴山小助 全四卷
▲佛國パテー米國支社特作品 ○第四レッドサークル 全廿八卷の内
▲大阪朝日新聞社界欄連載 ○事實譚○○家の秘密

京城明治町 電話二六〇 浪花館
竹山馬生很界引退記念興行
▲大阪親友派京山若圓合同一座
▲寛永勇士(和楽)▲[illegible]以上長講演
▲入場料[illegible]五錢均一

白毛 赤毛 そめ 君が代
品質も評判も飛付るよい しらが染君が代は
▲染方手輕卅分間に染り
▲手觸を決して損せず
▲却而髪毛を直し
▲染色長く光出す
好評ある別製「君が代」は液體にして使用方一層便利なれば是非一度御試みを願升
本品は到る處の有名藥店化粧品店にあり
本品は目下御小賣店に有利なる特賣中
●定價●別製 二十五錢 特製大四十五錢小廿五錢
東京市淺草區藏前町 本舗 山吉商店 長電話下谷二八八二 振替東京一九三七二
關西代理店 大阪市東區堺筋通 伊藤朝日堂 振替東七四一六六七 振替大阪三一九〇

夏は胃病の注意時
胃腸病には―ホシ胃腸藥
主効
胃痛。食過。飲過。吐瀉
胃腸カタルにて苦しき時
溜飲。食もたれ。消化
不良。胸痞。悪心。悪酔。
宿酔にて氣持悪しき時
定價 十錢 二十錢 五十錢 一圓
東京京橋南傳馬町 星製藥株式會社 電話京橋一七八五振替東京二〇五二二
△各地特約藥店及店にあり


朝鮮人參精製 ホシ人參製劑
朝鮮人參を化學的に精製せるホシ人參製劑は
神經衰弱―ヒステリー―精力減退―貧血―肺病
リウマチス―子宮病血の道―神經痛―眩暈
營養不良―老衰―陰萎―腎臓炎―等に効あり
藥用人參は古來より不老長壽の靈藥として盛に賞用せらる、殊に支那に於て人參の需要盛んなるは專ら精力增補の目的を以て使用せらるゝが爲なり。本邦に於ても近來人參の需要旺盛なり、蓋し眞正純良なるものは極めて稀なり。ホシ人參製劑は人參研究に名ある朝鮮總督府顧問三宅博士が朝鮮人參の本場なる開城産の逸品中より優良なるものを選擇し是れを化學的に精製せるもの數ある人參製劑中の最良品なり

種類	
ホシ人參丸	廿錢 五十錢 一圓 二圓
ホシ人參錠	五十錢 一圓
ホシ人參末	五十錢 一圓 三圓 五圓
ホシ人參流動エキス	五十錢 一圓 三圓 五圓
ホシ人參規那葡萄酒	一圓 (近日發賣)

各地藥店及特約店にあり
東京京橋區南傳馬町三丁目 星製藥株式會社 電話京橋一七八五 振替東京二〇五二二

第三種郵便物認可
京城日報
二十八日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

▲二十七日後場 [illegible]……大阪前止二十圓九十九錢……七圓四十九錢より六錢ご押したるが大阪の上……二十一圓七十三錢……受けて五十錢と返したるも大阪の海清み……五十五錢より五十錢引中十九圓四十二錢より……三錢と跌れ四十錢引後十七圓四十九錢と五……安に寄付六錢と押し[illegible]

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十錢（郵税共）
廣告料　（五號活字一行）[illegible]
發行兼編輯人　小川三之助
印刷人　[illegible]
發行所　京城本町通一丁目　合資會社 京城日報社
電話（編輯用・營業用）[illegible]　振替貯金口座京城三〇〇番

京城日報
歐洲戰線

七月以來、英佛軍西部戰線に於て大攻勢を取り、戰線四百有餘哩に渉りて總攻撃を强行したれども、今月初め其一段落を告げ、爾後英佛軍各處に進出し、敵軍亦屢ば逆襲を企て、互に其形勢を睨るも、西部戰線はこれより雨期に入るべくして、當分目覺しき大爭鬪を見ることなかるべく、戰局の長引くべき兆候は愈々鮮著なり。最近の諸報を綜合するに、西部戰線は敵味方共に壍壕砲壘甚だ備れるあり。其戰線亦長大なる爲め、急攻力進甚だ困難なるや論なく、敵の一線を擊破すれば、則ち第二線に據りて之を防ぐといふ有樣なる爲めに、其攻進甚だ捗々しからずと雖も、大體より云はゞ獨逸は英佛兩國に比して、其砲彈製造力甚だ劣れる事益明白となり、敵軍は砲彈を節約する爲めに、一歩一歩退却するといふ姿なり。當初獨逸の情形を觀測するものは其の食物の缺乏の爲めに倒るべしと曰ひ、兵員不足の爲めに屈すべしと曰ひ、國内の紛擾の爲めに敗るべしと曰ふもの多かりしも、今日のところにては、以上三者に就ては格別の弱點を暴露せずして、却て其の佛國の陣地を退きたる跡に就て之を見るときは、其の敗後地上に在る所の物は悉く爆破し去りたるより推すも、其の爆發藥に富めることを認めざるべからざれども、砲彈に至りては其原料を得がたきのみならず、其國内の工場の製造能力は、到底英吉利佛蘭西兩國の其れと相比すべくもあらず、且英佛兩國に對しては、日本及び北米合衆國の極力之を援助するあり、其の諸般の供給の便益は合圍中に在るところの獨逸と、日を同くして談るべからざるものあるは勿論なり。

只、此戰局の將來の爲めに考量すべきもの二あり。第一は獨逸の潛航艇を打破することは可能なりや否やといふ是れなり。昨秋以來、獨逸潛艇海上に跋扈し、今年三四月の如きは一箇月に百萬噸以上の船舶を擊沈したりと云ふ。最近遭難船舶大に減退したりと云ふも、其危險は依然として猶の如くにして、これが爲め海上輸送の困難名狀すべからざる有樣なり。斯る海上輸送の故障は出征兵員多ければ多きほど、又其爭鬪が長引けば長引くほど、其影響を大にすべきや勿論にして、今に及びて其防止の道を定めざるときは、味方の不利言ふに勝へざるものあるべし。其二は北米合衆國の出兵なり。近報米國兵員は此年末までには二百三十萬を算すべしと爲す。然らば其一半を歐洲戰線に送るも百萬以上ならざるべからずして、今日の英佛連合軍に加ふるに米軍百萬を以てす。其輸送及び供給は一に之を海上輸送に待たざるべからずして、海上の任務は今日に倍加するものなかるべからず。知らず、其船舶供給の道ありや。米國は固より自己の船舶を以て、自己の遠征軍を支持するの要意あるべし。但しながら、米國にして其全力を擧げて、自己の遠征軍を支持するときは、他の協商國は過去の如く、米國の援助を得る能はざるの虞なきか。是れ吾人が日米共同して船舶製造に努力するの必要を說く所以なり。然りと雖も、米國の大軍を歐洲戰線に出すは、則ち此戰役の爲めに最後の決戰を見る所以にして、米國民亦百難を排して其大擧を動かすべきや、言を待たざる也。

國力發展の要素（一）
文學博士　幣原坦氏講演

私は朝鮮を去りて以來十餘年間、一度も朝鮮の土を踏んだ事が無かつた處、今回渡鮮の機會を得て、先日來各地の狀況を觀察して居るが、總ての事柄が驚く程面目を改めて居る。殊に教育方面に於ける變化は眞に隔世の感がある。吾々が舊韓國政府時代朝鮮の學政に參畫した當時に在ては、今後數十年を期せねば其の實現を見る事が出來まいと考へられた諸般の施設が、十年後の今日殆んど全部着手されて居るの事實は、最も驚異に値するものであつて、私の追懷措く能はざる所である。統監府初期の學制の制定に關する案中今日猶實施の運を見るに至らぬのは、唯僅かに補習科の一あるのみで、其の他は殆んど總て之が完成を告げて居る。不肖私の如き者が若し朝鮮教育の衝に當つたとしたならば、到底今日の如き成績は擧げ得ない。私は先づ當局者の此努力に向つて深く感謝する次第である。

私は今回朝鮮に參るに付いて、圖らずも普通學校令を布かうとした當時の原稿を筐底から發見した。甚だ幼稚なものであるけれども、最初學校の名稱を國民學校とする考であつた。然るに當時の學部大臣は國民學校なる名稱では上流子弟は入學すまい。我國に於ては臣民と言ふて「臣は位に居する者、民は位を得ない者を指す、國民學校と稱すとせば恐らく上流子弟は學校に來まいと云ふ吾々の豫期せざりし反對が起り遂に國民學校は變じて普通學校となつたのである。或は又當時私の意見としては、普通學校の科目中に日語を加へたいと云ふので之を初めた時の如きは、京城の殆んど全部の學生が出て攻擊し、凡そ八百名に近い學生が學部に押かけ、中には今度の顧問官は不屆な奴であるから殺さねばならぬ抔と演說する者もあつた。又實業教育を實施せし際の如きも猛烈なる反對が起つたのである。昔から智を以てする者は人を役し力を以てする者は人に役せらると言ふが、實業教育の樣な者は、實を教へる教育は卽ち人に役せらるゝ人間を造るものである。今度の顧問官は朝鮮人をして人に役せらるゝ國民にしやうとする者に違ひない、と云ふ見解を有つて誰れも實業學校に入學しなかつた。之では成らぬと種々勸誘說示の結果幸ふじて四人の生徒を得、內地より一人の農學士を聘備して教授を開始した。其れには實習場が必要であると言ふので色々調査の結果、初めて今の纛島が可いとなつた。所が宮內府から纛島は御陵墓の在る所で彼所に實習場を設けるのは方角が惡いから廢して呉れとの反對が起つて來た。一昨日其の思出多き纛島に行つて見たが當時と比較せば實に天地霄壤の差である。而して實業教育は日に月に進步しつゝある現況を見て私は感謝に堪へないのである。今や全鮮到る處に學校が設置され、國を富まし、民に恒產を授くる設備到らざる無く、風景は改まりて山野は綠を呈し、實に面目を一新した。當時は旅行するにも生命の安全が無かつた。又財產の安全も名譽の安全も保たれなかつた。されば今日の忠臣も明日は逆徒と成つて首を刎らるゝ者比々然りであつた。今や地方を旅行するに汽車ならずんば自動車あり農民は安堵して各其生業を樂んで居る。啻に生命、財產、名譽の安全が保たれ居るのみならず、朝鮮從來の文明の保護……美術の保護までも至つて居る。是れ偏に新政の賜である。當時の狀況は今日唯一場の笑草に過ぎぬ程進步したのは是れ偏に新政の賜であり、陛下の御稜威の然らしむる所であると痛切に感ずる次第である。今や内鮮人一國統治の下に立ち共に倶に手を携へ更に百尺竿頭一步を進めて、國力の發展を企畫せざる可らざる秋に際會した。

扨て國家の發展は、恰も個人の發展と等しく發展すべき要素を具備せねば成らぬ。國家發展の要素は、數へ來れば多々あるであらうが、其の枝葉の細かい點に觸れずに、唯其の大體に就いて考へて見ても、茲に數者を舉げねばならない。

誰（78）
布施生譯

夫人と賴太郎との間は日毎に親しみが增して夫人は賴太郎に父親の氣高い所が宿つてゐるやうに思つた。吾兒ながら潔いとんだ立派な子供は假令金を遣らうと言つたつて中々背く事ではあるまい、夫人は言はぬ前からそれを苦にした、そして賴太郎の一身に就ては萬事藏部を依賴にした。

或日藏部は夫人に向ひ「かうして何もしないで悠遊してゐるのは結構ですがね、そろ／＼賴太郎に何か仕事を見付けたらどうでしやう」「なあに伯父樣」賴太郎は伯父の言を遮つて「そんな事で母樣に御心配をかけなくても可いぢや有りませんか」「いやそれは私の財產がある間はそれで可いがね、無くなつてからは其樣もしてゐられないからさ」「其時は伯父樣」賴太郎は無邪氣な氣焔を揚げて「私は志願して軍籍へ這入ります」そして一つ戰爭へ出るんです」夫人は驚いて「これお前は何をお言ひです、どうしてそんな危い事を――」賴「だつて母樣、吾家は武士ぢやありませんか、私も戰爭で一廉功名を揚げたいんです。今の形勢では何れ近いうちに大戰爭が始まりますからね」「まあそんな事」夫人は若子の健氣さを喜びながら左樣した時の別離が辛かつた。夫人は藏部と相談して何より先に早く職業を探してやるが可いと言ふ事、それまでもう少し賴太郎の趣味教育をする爲に夫人から每月幾許かの金を藏部に預けて賴太郎に使はせる事に約束した。

藏部は今は夫人に取つて萬事につけ入用な人間になつた。そうなると夫人は何とかして藏部を自由に家に出入させるやうにしたい。夫人は藏部と相談して或日とうとう彼を友人と云ふ名義で公然夫に紹介した。藏部は長い間社會のあらゆる階級を遊步いて醜いも甘いも知抜いた人間である。保部老人と調子を合せる位は勿論朝飯前の仕事であつた。彼は容易に老人の信任を得て其日から心安く保部家に出入する人間と爲てしまつた。藏部はそれから每日のやうに夫人を訪ねてきて其度每に何かしら賴太郎の消息を傳へてくれた。藏部は追々賴太郎の事を夫人に話して「どうも血筋は爭はれないもので、賴太郎には何處か兄同樣に[illegible]しい所がありますよ、つまり氣に任せて物事をしやうとするんですな、金使ひでも其通りで如何かすると所謂一擲千金をやりたがるんです、既に角近頃は無駄使ひが多くて困ります、あれぢやあ到底私に監督は出來ませんよ」夫人は吾兒を擁護する機會が來たのを嬉しく苦々ながら母親めいた心持になつて「それはまあ何とか御迷惑を懸けまして濟みませんねえ、あれもまだ何分若うございますからね、當分はまあ左樣でもございましやうが何れ其内落付きましやうかと存じます」

雜誌抄
◆獨文熟達法（獨逸研究）

如何にせば和文獨譯に熟達し得るかといへば左の事項を心得て置く必要がある（一）和獨辭書に頼ることは極めて危險である、ソレは和獨辭書には無理に日本語を獨譯したものがあつて獨一方に採ると木に竹をついだ樣な文が往々出來る事がある（二）故に和文を獨譯するには自分の熟知してゐる字句のみを用ゐ、若し曖昧な字句に出合したら、獨逸出來の辭書か又は英獨辭書に依つて拾出したら危險はあるまいと思ふ、ソレカラ文法がイクラ完全であつても必ずしも完全な獨文であるとは云ふ事の出來ない場合が往々ある故に獨文に熟達せんには文法やイディオームや語法に熟達すると共に暗記讀の方に注意して常に暗記の習慣を充分につける必要がある

ハンマーネクタイピン　色々出來ました　一個金參圓也
地方御注文は代金引換小包便にて御送り致します
京城本町二　村木時計舖金工部　電話四七一番　振替三一九〇番

最新　國語漢文講義錄
新學期開講　講師は博士學士揃　講義は親切平易にて假名付
萬年筆　新入學者に限り大特典として贈呈
會則進呈　東京市本鄉　大日本國語漢文學會

十月一日より
京元線龍山往十里間に左記停車場を設置し一般運輸營業を開始いたし候
西氷庫　龍山より二哩二分　往十里より四哩三分
南大門安東間　一二等寢臺　設備
京義線夜行列車に從來の一等寢臺の外二等寢臺の取扱をも開始いたし候
南滿洲鐵道株式會社　京城管理局

武田十一郎氏著　改訂增補三版　新獵銃全書
本文四五〇頁外附錄クロース裝幀　正價金壹圓二十錢（郵税共）
本書は著者が多年の經驗を基として十餘年間研鑽の結果大成したるもの……獵銃、獵犬、射擊、狩獵、獵具の心得、記事、銃器取扱、獵家の好伴侶たり
發行所　東京京橋區　大倉銃砲店　大賣捌所　東京　東京堂

婦人世界
家庭の規律
△女中と娘の仕事……本多博士夫人
△子供の規律……佐々木武夫人
△日課を定めて働く……半賀氏夫人
△女中と相手に働く生活……佐々木博士夫人
△子供の食事に注意……楠本博士夫人
△米國婦人の家政より……一宮氏夫人
放蕩な夫に捨てられた婦人……新渡戸博士
恐ろしい產後の眼病……前田博士
婦人はかくして活動せよ……澁澤男爵
一流美術家の奥様くらべ……宮原入
十月家事……加藤男爵夫人
冬の用意……火鉢の準備……天長節の祝賀
支那人と規律……經濟の比較……通帳の取扱
商人の正否
黒百合（歷史小說）……小松島
海の大人（渡邊霞亭）
チョットした怪我の手當……上野博士
美味しく出來る薩摩芋料理……指原乙子
十月中の惣菜料理……櫻井ちか
髮を美しくする……美髮學校長　古田才市
糖の効能
有効なる野菜の食べ方……農學博士　深村鉄
有効なる果物の食べ方……醫學博士　村地長孝
野菜と果物
十一月號發行　一冊拾七錢　郵税壹錢……東京京橋區……實業之日本社

清酒値上廣告
冷卸發賣に付左記の通十月一日より値上實行仕候
記
一大樽　壹樽に付　金參圓
一半樽　壹樽に付　金壹圓五拾錢
一壹升以上　壹升に付　金拾錢
京城酒商組合

京城地方法院
商業登記公告
二井物產株式會社ハ大正六年九月二十日ヲ以テ小樽區……支店ヲ小樽區……ニ移轉シタリ
右大正六年九月拾七日登記
朝鮮賣藥株式會社……大正六年九月拾貳日……
右大正六年九月拾九日登記

大正七年　男女　運勢　一冊十五錢　陽新堂

來ル十月廿一日本府及各道（京畿道ヲ除ク）ニ於テ見習試驗ヲ施行ス志願者ハ九月二十五日迄ニ……
朝鮮總督府

最新刊
世界に於ける物質文明の潮流　坂口昂　二、五〇
……文學……
大隈伯……
膝栗毛輪講
無代進呈　新刊圖書分類目錄
大阪屋號

寫眞半額　朝業拔露の爲
龍山漢江通六番地　平田玉影館

◉朝鮮名物◉
金剛山　金剛飴　金剛糖　栗羊羹
京城本町二丁目　龜屋　電話四二七五番

本場　秩　大賣出
冬衣新柄
見切及物
秩父銘仙專門
十月一日より
京城本町　おかめや　電話……番

九月限　十月限　十一月限　……二千九百石……四萬九千石……六萬九百五十石
後場　正米　寄付　廿七日の十一月限　十七圓四十九錢　十七圓四十五錢

こいしが二十金指輪一個（十五匁）位の人向きのものを携へ來りて入質せんとしたるも家人に怪まれたるより件の指輪を其の儘置き去り

◎段內閣讓步案提出

段內閣は二十六日午前陸榮廷氏に對し最後の讓步案を提出せり(北京特電)

◎廣西軍湖南に向ふ

陸榮廷氏の統率する廣西軍は二十五日より出動し韶州を經て湖南に向へり(北京特電)

◎陸榮廷の作戰計畫

陸榮廷氏の計策は湖南、四川を略取し南北對峙の形勢を作らんとするにあり(北京特電)

◎湖南出征軍へ訓示

二十四日陳廣東督軍は湖南出征軍に對し訓示を爲し檢閲を行へり軍隊は鐵道に依り韶州を經て湖南に向ひたり(北京特電)

◎湖南應援軍出征か

北京政府は山東なる第五師團長張樹元氏を招致し湖南應援の密議中なるが多分同師團の出征を見るに至る可し(北京特電)

◎零陵問題抗爭

零陵問題は今や陸榮廷氏と段祺瑞氏との抗爭となり段派は狼狽しつゝあり(北京特電)

◎兩事件責任者免官

桝安縣事件及び琿春事件の交涉は未だ解決せざるも支那側は當該責任者たる地方官を全部免官したり(北京電報)

◎亞國對獨斷交可決

亞爾然丁議會にては十八票對五十三票の多數にて對獨國交斷絕を可決したり(倫敦電報)

◎重大なる獨逸の陰謀

日本及び米國支那間に行はれたる獨逸の陰謀暴露せられたり、此の陰謀は過去五年に亘りて多數の個人、團體、商店、汚職的文明を輸入する操觚者及び少數の新聞雜誌等是れに關係を有するもの、如く而して既に其の調査に着手されたる事柄は未だ表面のみに過ぎざるが如きも其の結果重大なる怪事實暴露するに至るべし(桑港電報)

◎張鎭芳無期徒刑

元財政總長張鎭芳氏の公判は二十六日午後審問を終り叛逆罪として無期徒刑を宣告せられ同時に阿片吸飲の廉により五百弗の罰金を課せられたり(北京特電)

◎李盛鐸放免

發に官金費消の嫌疑にて捕縛せられたる李盛鐸氏は證據不充分にて放免せられたり(北京特電)

◎張繼氏歸國

東京に滯在中なりし南方派領袖張繼氏は本國よりの急電に接し二十七日午後四時東京驛發列車にて歸國の途に就けり(東京特電)

◎兩事件交涉

[illegible]氏を派遣して調査に從事せしめ一方我が軍隊の撤兵を要求せる事已[illegible]外交部より調査員を派遣し來り宋道尹と共に調査に從事しつゝあり[illegible]搜查を爲さしむべき事を我が官憲に請求し來り目下我が安東縣領事[illegible]

[illegible]各需用地に向け試驗的供給を爲しつゝありし蛙目粘土、木節粘土の[illegible]べき豫定なり又た愛に內地より到著せる發動機械も十月中には据付[illegible]る計畫にて昨今船舶物色中なり何[illegible]け作業所にては規模の擴張と共に[illegible]後にあらざれば確かならざるも今後一兩年間は優良炭を出す事[illegible]

[illegible]州府壽光縣生れ馮昭玉(二五)及び同省沂州府費縣生張貴鮮(二八)の兩名[illegible]で今しも馬車にて逃走せんとするを取押へ同夜支那官憲に引渡せり

◎新嘉坡兌換停止

新嘉坡の英國政廳にては同地に於ける正貨の減少を防止する爲十日より向ふ三箇月間紙幣の兌換を停止する事となしたり(新嘉坡電報)

◎奉天東拓準備

東洋拓殖會社奉天支店は支店長吉野小一郞、參事谷川浩、同鈴木重治三氏以下已に著任し新市街古城商店內に假寓して事務所の物色を急ぎつゝあるが右總裁は來月七日頃來奉する筈なれば其れ迄には事務所なる滿鐵倶樂部跡に移轉する由猶營業方針に就ては未だ其詳細を知るを得ざるも滿洲拓殖上の一大活動を爲すと疑ひなかるべし(大本)

◎慶南獻穀納期

慶南獻穀田主釜山鎭の佐谷瀧太郞氏より上納す可き獻穀米の上納期は十月十五日限りの命令なりしが其筋の都合に依り同十日を以て期限とす可く變更したれば近日中石井道技師釜山に赴き嚴重檢査の上刈取り同九日龍頭山神社々殿にて修祓式を行ひ翌十日釜山府の書記一名捧持の上總督府に納附する筈

觀瀾亭雜俎　蘇峰生

○一杯人酒を飲み、三杯酒人を飲むもの、豈に啻だ酒のみならん哉。總ての事、皆な然らざるはなし。何事も程度問題也。特に道樂に於て、尤も然りと爲す。

○されど本來止所を知らざる傾向を有する、道樂に向て、其の程度を定めよと云ふは、宛も圓石を絕壁より轉じつゝ、之を半途に支持せんとするの類にあらずや。斯る難題を持ち掛けんよりも、寧ろ絕對的に道樂を禁止するに若かず。禁酒は易く、節酒は難し。是亦た一理あり。

○但し人として道樂なき者程、其の生活の乾燥したる者はあらず。人間は何なりとも一個乃至、數個の道樂ある可き也。若し全く人間より、道樂を奪ひ去らば、彼は此が爲めに精神的、心靈的不具者たる可き虞あり。本業以外に道樂あるは、人の生活を調節する所以也。

○道樂中にて、最も手輕き一は、讀書なる可し。故人は枕上、馬上、厠上と云へり。如何なる忙人と雖も、出勤途中の車上に於て、晩餐後の卓上に於て、若干の時間ある也。碁、將棋、骨牌、球戲、何れも相手を要す。但だ讀書のみは、獨り自から樂しむを得る也。凡そ道樂として、此程調法の者あらん哉。世上往々讀書を以て、一種の苦役となす者あり。蓋し思はざるの甚だしきものゝみ。

も被害甚だしく斯れが修理工事に就きては賦役又は地方費支辨に依り及ぶ限りの方法を執りつゝあるも大修理は勢ひ道廳より總督府に申達中にして多分明春頃工事着手の運びに至るべしと

◎京畿地方金融近況

八月末現在調査に依る京畿道管內水原地方金融組合以下二十一組合に於ける金融狀況を聞くに左の如し

▲負債の部　出資金百三十萬三千六百八十圓。政府下附金二十四萬八千七百二十圓。特別缺損補塡準備金五萬四千八百二十一圓。借入金四萬一千八百二十六圓五十六錢。預り金五萬三千六百四十七圓八十三錢。雜勘定三十萬五百七十二圓六十四錢。利益金二萬四千八百二十六圓八十九錢。合計百五十七萬三千九百六十三圓六錢九厘なり

▲資產の部　貸付金二十七萬五千二百四十八圓六十九錢。土地建物其他所有物四萬四千七百十八圓三十四錢五厘。農工銀行代理及び媒介貸付二萬九千四百六十五圓八十三錢九厘。預け金十萬九千百五圓六十一錢。現金一萬六千二十九圓十一錢。損失金二萬六千九十二圓三十五錢五厘合計五十七萬三千九百十三圓六錢九厘

なるが是を前年度同期に對比する時は組合員數に於て一千九百五十六人の增加を示し尙利益金一千六百四十七圓五十一錢五厘貸付金五萬八千三百九十五圓七十一錢五厘農工銀行代理及び媒介貸付に於て六千五百九十三圓五十九錢九厘合計七萬二千二百零三圓二十七錢九厘の何れも增加を示せりと

◎咸南指定面準備　咸北

道の指定面は羅南、會寧、城津の三地に內定せる旨此程本府より道廳に通牒ありたるを以て道廳にては直に當該郡廳庶務主任を十九日道廳に召集協議の上準備中なるが指定面制施行の順序は新面制の設定と共に面行政區域を分割し道令を以て十月一日羅南、城津の二面を設置し會寧面は現在の儘にて同日同時に總督より指定を受くるの運に至るべきか新設面は財政上の都合により年內は事務所の設置及び役員の任命を見るに止るべく勢ひ事業方面に於ても何等の施設を見る事なかるべしと(清津)

◎國稅納付注意

大正六年度第二期市街地稅納期は十月中の處京城府に於ては已に告知書發付の準備成り十月五日附を以つて十月一日より約束郵便に依り漸次發送の手筈にして納付指定期日は十月二十五日なれば納稅義務者は指定期日內に京城府、同龍山出張所若くは高陽郡廳內及び鍾路消防隊廳舍並に京城銀行內府金庫出張所に任意納付せらるべしと尙聞く處に由れば納期を經過し納付せざるときは其の翌日直に督促狀を發し其の期限を經過し納付せざるものは引續き滯納處分に着手する方針の由納稅義務者は納期を誤らざる樣注意すべしと

◎家屋稅滯納原因　京畿

道大正六年度第一期分家屋稅滯納原因調査狀況を聞くに滯納人員五千六十八人、稅額五千四百六圓にして內怠慢に因るもの二千五百三十八人、稅額三千二百二十六圓六十五錢、貧困に因るもの九百九十八人稅額三千四百四圓、全然不知意に因るもの九百五十四人稅額七百五十七圓四十三錢其の重なるものにして前年度同期調定額に對する滯納者四割六步一厘に比すれば今年は僅かに一割三步強なるに由つて觀れば昨今漸次徵稅成績は良好の域に進みつゝありと

◎軍用乾草買付　羅南陸軍

支廳にては例年の如く富寧郡慶興郡沿海地方に於て去月下旬來軍用乾草の直接購買を開始したるが本月上旬を以て終了豫定の如く二十八萬貫の買付を爲したる由にて乾草の乾燥成績は晴天續きなりし爲め良好にして品質優良のものを得たりと購入價格は平均三錢六厘なるも梱包人夫賃を合せば約五六錢に達すべければ約二萬圓の金子は同地方一般農家に均霑したるものなりと(淸津)

◎大阪より　支局記者

前週に於ける金融は概して平靜にして殆んど保合の姿なりしが前週末に近くに從ひ漸次緩和を見割引一錢五六厘コール無條件八九厘翌日拂七厘に低落し月越一錢六厘を唱へられたるもの二錢五厘にて相當出方あるに至り目先月末を控へ最近に於ける預金の激增せるは彼の二十五日償還にかゝる露國大藏省證券並に民間に支拂ふべき露國軍需品代金支拂として約六千萬圓に近き資金を東西正金銀行に預入せられたるものにて之等資金の漸次一般市場に流動すべきを以て此緩和を見るに至りしなるべし

▲舊盆後以來　一般回收の相應に行はれたるに不拘概して資金の潤澤を見る事なく金利も比較的強硬なりしは五千萬圓餘の內債拂込並に外債爲替資金の關係等を主なるものとし其他の原因としては諸物價騰貴による資金の移動膨大せると地方の景氣好況につれ中央市場の資金が內地一般に散布せられたる彼の小貨拂底が意味せる下層社會を始め一般人士の囊裡に貯藏せらるゝ額の增加等によるものにて、一面は米棉絲並に有價證券の大勸搖と戰時經濟に對する政策が內に於ては物價調節或は船舶管理或は金禁輸等外に於ては米國に於ける金鐵禁輸出禁止に亞で棉花扨ては生糸等の輸入に制限を加ふるやの流說に商工界は何となく不安の感を起し自ら一般の活氣を沈滯せし爲め金融業者も亦幾分かの警戒を加ふるに至りし結果によるものならん

▲金融の前途　に對し現今強弱の二說ありて一般繁忙を豫想するもの多きが如きも遠き將來はいざ知らず當分の間吾人の觀測としては特別の事情起らざる限り寧ろ緩和を見るべしと憶ふ現に近々償還せらるべき露債償還金二千八百萬圓並に民間軍需品代金三千萬圓と來月十二日期日の露債千七百萬圓は全く市場に散布せらるべき萬圓に對し需要方面は著しく增加を致すべきも現時有價證券並に綿糸布等の下落は却て從來より其資金の移動減退を來し其他大勢上甚だしく危惧すべき事情あらざればなり又近き將來に於て佛國債券五千萬圓內債五千萬圓の募集を見るとあるべしと傳へらる、果して實現するとしても前者は內地軍需品代金に充當せらるゝものなれば一時的資金の移動に止まり後者亦市場の狀勢に適應するの時期に於て發表を見るべければ其の影響も蓋し危惧するに足らざるべし(大阪支局)

◎朝郵の新傭船

朝鮮郵船會社にては今回神戶より第六高運丸(七百五十噸)を傭船する事となり十月初旬受渡しをなす筈なるが該船は內地朝鮮間の穀類輸送に充てしむべしと

◎施政記念と鮮銀休日

來る十月一日の施政記念日に對しては從來朝鮮銀行に於ては臨時休業をなし來れるが本年よりは每年定例公休日に定めたりと

◎建部博士入京

東京帝國大學敎授文學博士建部遯吾氏は二十七日夜入京朝鮮ホテルに投せり

◎大阪視察團旅程

大阪弘報社主催に係る鮮滿實業視察團三十名は來る十月三日夜釜山上陸順次北上視察する筈なるが其旅程中朝鮮に於けるものの左の如し

▲十月四日釜山より大田▲五日大田視察群山間▲六日群山木浦間▲七日木浦大田間▲八日大田永登浦仁川南大門▲九日京城滯在▲十日より十一日に亘り京城平壤間▲十二日平壤安東縣撫順に向ふ

◎清州農學校生徒來仁

忠淸北道淸州農學校生徒二十三名は佐藤教諭外一名に引率され二十六日出發各地見學の途に就けるが十月二日來仁すべしと(仁川)

◎松永長官轉居

松永京畿道長官は近かく西小門前總分次官舍に轉居すべく目下同官舍に手入普請中なり

◎鳥致院雜信

▲忠南第一部會　忠淸南道普通學校長第一部會議は昨廿五日より鳥致院普通學校に於て開會廿六日を以て會議終了の筈なるが廿五日午後七時より小池普校長發起にて來會校長及び鳥致院官民有志の懇親會を明治旅館に於て開催し極めて盛會なりき▲秋季大祭舉行　鳥致院大神宮祭は昨年來種々の事情により春秋二期の大祭は僅かに式典のみを舉行するに止め居りしが本秋は來る十月六七の兩日を期し大祭典を施行すべく目下協議中なれば近々式次第其の他は發表を見るべき筈なり▲水原中隊宿泊　大田方面の演習教練參加の爲出向せし水原守備中隊は二十六日午後五時半公州街道より來鳥明治館重松田村旅館に分宿明廿七日早朝金堤方面へ向け出發の筈

人事消息

▲高橋亨氏(大邱高等普通學校長)二十七日夜入京朝鮮ホテルへ

▲岡東業三氏(三菱社員)同上大邱へ

■百聞百種■

支那の南北戰爭も始まりかけたが何うなるものかまだ〳〵判らぬ▲而し南方からは陸榮廷の息子さんが指揮刀を取つて進むと、北方には段總理の愛婿吳光新君が轡を引き締めて待ち構へて居る▲今度は何んだか本腰になり相な氣もせぬではない▲斯うなると例の歐洲出兵も中止にならなければなるまい▲露國では何よりも手よりも食糧缺乏問題が非常にやかましくなつて居るらしい▲新聞紙なども筆を揃へて其危險を說き▲ルースコエ、スローウオ紙なども食糧問題は獨軍よりも恐ろしいと呼び▲ノーウォエ、ウレミヤ紙なども食糧騷動の切迫せるを切言しつゝあるなど形勢穩かでない▲其れが全國だから堪らぬ莫斯科から近く歸つた人の話を聞くと▲同市では食料は勿論燃料も近頃は酷く缺乏し▲市民は河邊に出て木片などを拾ひ集めて居る▲此の儘で行くと冬期には凍死者と餓死者とで莫斯科も全滅の外はあるまいと▲國內は政治的騷亂で各國はハラ〳〵させて居る上に食糧燃料の大缺乏▲殊に冬期を控へた今日であるから露國には更らに一勁敵が飛び出した譯だ▲處が此の勁敵たるや鳥渡人力では何うにもなりにくいから▲前門の狼と後門の虎とが一チ二イ三ンで喰ひかつた樣なものだ

自元山至長箭海上口占　此日風濤甚　温井里　水野錬梅

萬里吹來鞣颶風。海潮如馬走長空。柁頭暫止踏跟足。凝視層々怪石叢。(叢石亭)

耐火煉瓦

▲蠟石煉瓦(三十番より三十四番)
▲シャモット煉瓦(三十番より三十四番)
▲ダイナス煉瓦
▲マグネシヤ煉瓦
▲耐火モルター其他
耐火物各種
京城府橋口町(電話二〇五番)
合資會社　京谷商店

ワンゲル鞄

品質體裁共に優美堅牢且つ廉價にして實用的比類なきまで優秀品なるを以て益々好評を博しつゝあり
形容及寸法等は如何樣にも御注文に應ず
京城明治町二丁目●電話一八三三番
古賀喜製鞄造所

樂堂創立明治二十八年
時計及蓄音器卸商
京城黃金町二丁目
喜多金光堂
電話一〇一五●替振京城七八

各種
獵用火藥
散彈　獵具附屬品
スッカリ揃ひました

値段は早くより準備致しましたから
餘程安價に願はれます
仁川仲町
銃砲火藥卸商
共榮社
長電話七五番
振替口座四五參番
鑛山、鐵道、土工用
ダイナマイト
ゼリグナイト
火藥
雷管
導火線
各種
貯藏豐富
キング空氣銃新著仕候
(定價表無代進呈)

資本金　二一、七〇〇、〇〇〇圓
積立金　一一、二〇〇、〇〇〇圓
諸預金　一八八、〇〇〇、〇〇〇圓
株式會社第一銀行支店
支配人　西村道彦
京城府本町二丁目(振替貯金京城一一番)

京日案內

普通

●讓店　茶及上菓子店本町四丁目永年の老舖得意澤山有都合にて至急讓る　申込所本町四丁目　青木出張店　617

●裁縫女弟子入用　希望者は左記へ至急來談あれ　壽町十七番地　高野屋事　大橋　618

●店員入用　保證人を要す希望者本人來談あれ　京城本町一　大阪屋號書店　電話二〇八六番　624

●門生入用　十四歲以上十八歲迄但小學校卒業程度以上のもの希望者本人來談　京城三阪通顯谷寫眞館　627

●明治町　フランス敎會前　うちみほねつき所　荒川仁壽堂　電話二五九五番　625

●店員入用　十八歲以下市內に保證人を要す(電話一五六二番)　京城本町三丁目　近藤金物店　632

●店員一名　果實販賣に經驗あり市內に確實の保證人ある人來談あれ　旭町一丁目　川西商店　638

●見習看護婦至急入用　希望者本人來談　龍山元町一　電話二〇四番　淺野醫院　467

●嬰兒預けたし　生後六ヶ月男子乳の有方へ希望者來談又御報を願ふ　南山町一丁目八　石川兼助方　628

●女子記帳係至急採用　姓名在社　622

●看護婦見習至急入用　姓名在社　314

番外

◎乳母入用　最近分娩のもの可成三十歲位希望者本人來談　古市町三十七番地　北原利男(電話九六五番)　619

◎女中急入用　炊事方一名　高給を與ふ　古市町三十七番地　北原利男(電話九六五番)　620

移轉　各印刷用オンキ製造所　京城古市町停留所東へ入る　芹川商店(電話三〇五一番)　611

◎はねつき　うちみ　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場　483

恩給年金立替　五年半年三年分迄無保險　京城若草町　金光教會裏手　電話三三九一番　國江商會　526

乘合自働車　賃金片道一圓　京城驛前八時　春川發前八時　京城水標橋通　電話二三三八番　春川自働車商會　松田壽男　534

◎礦物定量分析　太平町二丁目　電話長二三四四　朝鮮公論社左横小路　坂元分析所　553

◎朝鮮語科　新學期　三ヶ月修業　◎英語科　各級補缺　募集　南大門通漢城銀行向ひ　京城青年會　641

改印　今般都合上從前の實印を廢し大正六年九月二十六日を以て新製改印仕候間此段廣告候也　京畿道高陽郡崇仁面新設里二十六番地　右　森のぶ　623

宅地家屋賣却　京城黃金町東拓前所在面積壹百坪●京城長橋町三八所在面積百七十坪　希望の方は太平通二丁目太陽ゴム商會へ　626

店員入用　十五六歲　廿二三歲　各二名　確實なる保證人を要自筆履歷書持參本人來談　仁川新町　坂田支店　629

店員入用　商事外交に經驗あり二十五歲以上但し普通敎育あるもの保證人を要す　京城西小門町　西崎商會　631

…離さざるものの如きが聞く處によれば鮮安事件に就ては北發生當時支那官憲より奉天交涉署員丁幹元…して某に代理のしめ同知事は已に入城して事務を取りつゝあり目下同知事の手に於て交涉中なるが如く又た錦州事件に就ては北京…不日來奉すべしと又た一消息によれば張作霖氏は鮮安事件の交涉を該地に於て爲し並に嚴重に犯人の…

●鏡城鐵業所擴張（咸北）

鏡城郡生氣嶺鐵業所にては從來…を受けたる…會社…條を山元より獨津迄敷設する事となり本年十一月中には完成せしむ…業所にては輕鐵線路の敷設と共に七八百噸級の船舶一隻を購入し獨津下關間の陶土運搬に從事せしむ…土を…すれば百噸に付五十圓の…土を得殘餘は硅石にて高價なる硝子原料を得る事なれば一擧兩得なりと因に石炭は排水機械運轉…增加すべき見込みなり（淸津）

●馬賊を逮捕

豫て支那官憲にて嚴探中なりし馬賊山東省…に依頼する處ありしが去る廿四日午後二時過ぎ張は下川端町の客棧…方にて馮は三番通支那芝居を出…

●百聞一見に如かず
內地人教師の熱心努力に感嘆す
東京帝國大學教授　建部文學博士談

東京帝國大學文科大學教授文學博士建部遯吾氏は廿七日午後九時南大門着列車にて大邱より入京せり列車中に於ける博士の談片に曰く

今回は約五週間の時日を以て朝鮮に於ける教育行政並に教育教化の狀況及び滿洲に於ける社會教化の狀態を視察せんとす予が朝鮮に來りしは

▽今回が始め　なれど教育行政其他教化の一般に就ては數年來高橋現大邱高等普通學校長の厚意により其の大體を知る事を得たるが實地を見るに及び百聞一見に若かずの感を深くしたり未だ大邱及び慶州の視察を爲したるのみにて教育教化に就て多く語る事を得ざれど短時日の視察に依つて得たる感想を述ぶれば朝鮮人教育に當る內地人職員が何れも熱心なるに感服したり普通學校に於て最も予の感じたるは

▽校長の人格の　反影著るしき事內地小學校等の比に非ず校長が部下の職員を統御する苦心に於ても內地小學校に數倍せるを見たり故に先づ校長の選任に當つて其の人格に重きを置かざる可からずと感じたり朝鮮人教化の點に於ても時日短かく多く語る事を得ざれども釜山上陸以來朝鮮人に左したる人相惡しき顏を見ざりしは予の最も愉快とせる處なり單に鮮人の顏面のみならず山水風物何れも柔らかにして秀でたるものなく

▽刺戟の微温的　なるを感じたり、日本の朝鮮統治は近かくに居りて微細の點にまで反つて之を詮索すれば或は幾多の缺點を見出すならんも遠くより大體として見れば頗る要領を得たる行き方にして良好の成績を收めつゝあり凡て政治には日計足らずして月計に餘裕を生ずるが如き事ありされど每日日計の不足を生ずるは不可なり日計、月計、年計共に餘裕を生ずるやう勵めざるべからず昨年臺灣に渡り臺灣に於ける施政を見るに極めて

▽常識的の計畫　を基礎として而かも意外に良好の成績を收め得たり朝鮮は臺灣の如く複雜なる事情を有せざるを以て更に其の施政の效果は速かにして顯著なるものあるべし鮮人が國語に熟達し居るは誠に愉快の至りなり少くも朝鮮訛りとも云ふべき一種の訛りを有すれども何れも滑らかに國語を操る事は感服の外なし慶州に於ては二三の朝鮮人教師の訪問を受け相語りたるが朝鮮人を教師に採用する事は誠に結構なる事にして

▽眞の教化は玆　に存す事疑ふべからずただ朝鮮人教員を養成する際の根本方針を誤らざる事に注意するが緊要なり予は京城四周各方面の視察を爲し木浦に赴き更に引還へして元山を視察し平壤を經て滿洲に入り關東都督府の依囑に由り三ケ日關東州內及び滿鐵附屬地小學校教員の爲め講演會を開き且つ支那古來より行はれたる社會の教化に就て視察研究を爲す豫定なり

盜まれた六千圓の大佛畫　長さ三間四尺縱四間（記事參照）

◆一夜の清遊を擅に
改めて盛大に擧行する事となつた我社主催廻遊觀月會

雨天のため中止の已むなきに至つた京城日報每日申報主催の廻遊觀月會は愈々二十九日を以て改めて盛大に擧行する事となつた、當日は恰かも土曜日且つ舊曆十四日に當つて居る事だから最も

◆落ついて悠りこ　一夜の清遊を擅にする事が出來る、死てた淸涼里の諸設備は些の變りなきのみならず却つて餘興の如き最初に比して盛大になつて居る、亦發きに發行した『觀月會員券』もそのまゝ使用し得る事になつて居る、然し今回は當日愈々擧行する事に決定すれば二十九日午後正四時から二十分間每に漢陽公園に

◆五發の煙火を打揚げて合圖に代へる、雨天或は曇天の場合は號砲を發揚しない事によつて翌日に延期の事を承知されたい、臨時特發の廻遊列車の南大門驛發車時刻は午後六時四十分となり會員多數のため同列車に收容出來ない場合には更に七時に續發する事になつてゐるが、會員諸君は四時を打つと同時に合圖の煙火が鳴り渡つたら成るべく

◆早く南大門驛へ　出掛けて頂きたい、車中には日本側にはサツポロビール寄贈の極めて陽氣な五人囃子があり朝鮮側では古樂の演奏があり西氷庫驛に停車中の十分乃至十五分間に於いては李王職音樂隊の月の夕べにふさはしい演奏もある、かくて南大門淸涼里の極短に徐行しつゝ七時三十分淸涼里に著げば會場なる長春館裏手の小山には

◆三間に四間の舞臺　を設らへ妓生四十餘名出演の數番の踊りを始め郊外活動寫眞、博多仁輪加、李王職音樂隊の演奏、劍舞、五人囃子の練り歩くなどがあつて頗る賑ひを呈する外會場にはサツポロビヤホール、各種の模擬店、土産用の月見團子の賣店等もあつて思ふまゝに觀月の愉快を味はひながら

◆種々の餘興に興じ合ふ事も能きよう、恁うして十時過ぎ歡談笑語湧くが如き裡に任意に解散すれば、歸り途は電車十臺が用意され會員勞所持の人は電車によつて龍山に還るも麻浦に至るも自由である

●憲兵船夫を救ふ

平南安州分隊老江鎭憲兵出張所の憲兵が補助員を連十九日午前三時より海上巡察の爲め小舟にて廻漕中西湖里太香山警報信號場附近の海上に救ひを求むる聲あるより直ちに近所の船夫一名に倶に逆捲く激浪を冒して漕ぎ寄れば帆柱折れたる船體に辛くも取り縋り半死半生の男二名噛み付き居るを發見し直ちに救助し手當を加へたるが二人は平原郡西海面延豐里金賢俊（四八）外一名にして恰も同面事務所及び蛇山憲兵出張所の新營材料たる松丸太等百四十一本を筏に組み更に舟には屋根瓦を滿載し航行する途中計らず大暴風に遭ひ激浪の爲め筏と舟と衝突して遂に沈沒したるものなりしが損害は四百圓の見込なり

●六千圓の大佛畫 竊取

忠北堤川郡德山面道田里金裕達（三二）は七月中同面月岳里の巨刹神勒寺に忍び入り釋迦如來の佛畫を描きたる長さ三間四尺縱四間の軸物にて四百五十年を經過したる由緖ある大佛畫一幅（評價六千圓）を竊取して京城に持ち來りて賣却せんと徘徊中を鍾路警察署の手に逮捕され取調べの上檢事局送り

●哀な女の運命

▽嬰兒殺しは執行猶豫　慶南山淸郡邑內鄭召史は同地にて有名なる資産家にて去る七年前夫に死別れ若き身にて寡婦となり念佛三昧にて日を送りつゝありしが或る夜

◆若き尼僧　に一夜の宿を乞ふが儘に亡夫の菩提のため佛間に招じ種々と饗應したる末敵手が尼僧なれば氣を許して自分の室にて同寢せしに尼僧は事實男僧にて就寢中の召史を辱め翌日前日の如く尼僧の服裝にて何處ともなく立去りたり其の後召史は遂に懷妊し僧侶の行衞を探ねしも手係りなく月滿ちて分娩せしが寡婦の事故世間體を恥ぢて嬰兒を衣類に包み押入に入れ置きし結果遂に死亡するに至りしにより死兒の處置に困窮し

◆山に埋葬　をせしめたり然るに其後村某は召史の弱みに附け込み數十回脅迫し金子及び衣類を强奪せし上七年間小作料を一文も支拂はざるにより召史も最早勘忍袋の緖を切り田地全部を取上げしを深く怨み前記の事情を同地憲兵隊に密告せしかば遂に事實判明するに至り晋州地方法院に送致せしが過般公判開廷原田辯護士の熱烈たる辯護と事情を酌量し懲役二年に處し三年間刑の執行猶豫の判決ありたり（晋州）

●京城神社秋季大祭

二十八日午後二時京城ホテルに氏子總代會を開き大正五年度歲入出決算社務所增築並に秋季大祭執行の件其他を附議する筈なるが收支決算及大祭は左の如し

▲歲入出決算　歲入總高一金七千三百十圓二錢、歲出總高一金七千二百八十八圓九十二錢五厘、差引殘金二十一圓九錢五厘

▲秋季大祭施行　祭典日取十月十六日前夜祭十七日大祭式典に御神幸十八日御還幸右大祭實務は本年度の當番なる第二區內各委員分擔奉仕し祭典式次第行列は總て昨年通りに行ふべし

支那巡錫隨行記
井蛙　二條厚基

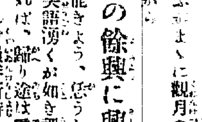
△京城へ到る途中（續）

今日は生れて始めて多數の鮮人に逢うた、皆其の服裝に就いて大なる興味を持つた、皆傍の勞動者も一團つて最下級の勞働者でなければ皆清潔な周衣と稱する上衣を着けてゐるのが氣に入つた、頭には圓時のシツクハツトを冠つてゐるのが如何にも風雅なゆつとりとした感じを與へた、そして其の白い集團が秋の畑や野原に動いてゐるさまは…の群ではないが一種風景を添へる。

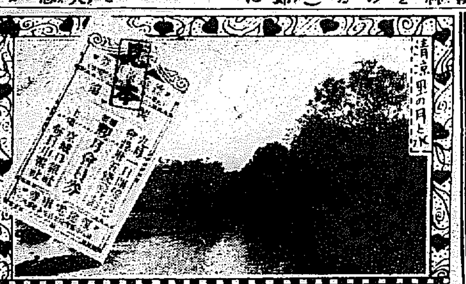
此の氣持のいゝ服裝の上に皆日本人より背が高くて立派な體格を持つてゐるのが羨ましい、そして孔子樣的の儀式の莊嚴な顏付で悠々と町を歩かれては矮小なそして色の統一の無い汚い雜な和服を兵兒帶で締り木の履物を足に突かけて濶歩する武士道の人種であつても貧弱で堪らない、其の上卑屈な態をつけられたら一等國民もへつたくれもない、…された。

…故風俗上の同化は駄目だと思うた、反つて日本の勞働者は鮮人の衣側をする樣になりさうだ、鮮人の家屋は汚い小さい低い暗い所に住んでゐても其の中から出て來る人間は…のシルクハツトに淺黃又は純白の麻の周衣を…見ると日本人（殊に和服の人）ではない…の服裝改良を叫びたい氣がする、全く鮮人が日本家屋に住した方が釣合が好い、之れは單に衣服より見て云うたのである

次に小蛙の眼に映じたのはポプラ樹の澤山あることだ、田に野に庭に道路に是れは總督府の計畫になつたもので先見の明ありと云つてもよからう、寒氣に堪へ早く生長するものは此の木に限る、又風景も添へて有難い



▲京城の風呂屋組合はこんど湯錢を五錢に値あげした上▲錢湯も廢したは困ると風呂屋橫暴呼ばはりをするのは一部のお客さんの意見▲何分石炭が昨年とは倍値になりまして昨年一噸八圓餘のきりこみが今年は十九圓になりましたこれでは全く引合ひませぬとは風呂屋側の意見▲それに風呂の釜も百圓位ゐで出來た從前のものが昨今は五百圓を上下するとこぼしてゐる▲飛行家のスミス君はその後滿洲の大連で妙技を見せる氣だつたが今にゴタ／＼してゐる▲なんでも大連は要塞地帶で不可ぬといふので或は奉天の空を飛ぶかも知れぬといふ▲南漢山に登つて來た人のはなしによれば此のごろ山の絕頂はモウ一面の紅葉だそうな▲それに北漢山の蔦紅葉から霜に染みそめて石坡亭のあたり酒をあたゝむるに適はしからう▲月もいよいよ圓くなつた淸涼里の夜は芋の葉の白露眞珠の如くかゞやいてゐる



再擧觀月會切符

電話配達

再擧廻遊觀月會切符本廿六日より發賣販布す。汽車電車賃共大人券金廿五錢。十二才未滿の子供券廿錢。（五才以下お斷り）五枚以上御希望の方は京城日報社構內電話二一二又は二一三番へ御申込みあれば直ちに配達致升

市內取次所設置

入會希望各位の御便宜を圖り左記市內知名の日報商店に委囑觀月會切符取次販賣方の承諾を得ました故最寄御購入を願ひ升

本町二 町田商店　本町一 大阪屋　本町二 巖松堂　櫻井町角 安本藥店　明治町 通川商店　黃金町二 炭本商店　太平通一 盛文堂　蓬萊町一 新漢書林　南大門通 信行商會　南大門外 博文書館　西大門外 濟衆局

本町二 日韓書房　本町二 ウツボ屋　本町四 丸山商店　本町一 綠藤本店　永樂町 稻本商店　新町 野田藥店　鍾路通 大盛商店　鍾路三 廣學書舖　和平堂　大安洞

南大門通 日米商店　黃金町二 喜多金光堂　龍山 町田新聞店　龍山市 喜米地商店　龍山 盛文堂支店　龍山 井上藥店　南大門町 勸農販賣店　西大門町 金永斗商店　鍾路通 李道興商店

◎又々四大寫眞大提供仕候

◎家庭劇 優き身 四卷
婦女界連載家庭小說 柳川春葉先生大傑作
上流家庭內に起れる事實を中心とし、冷酷なる繼母に虐待さるゝ一少年を主人公とし之に關連して其親戚間の複雜なる事情は纏綿交絡して事件を呼び著者得意の現代教訓的家庭大悲劇

◎舊劇 天一坊東下り
河竹默阿彌翁大傑作 東海道五十三次全四卷續き
怪漢天一坊が東下りの奇談。岡崎の怪猫騷動は默阿彌翁發見の新事實にて最後に至りては名奉行大岡越前守の苦心慘膽。見逃しの芝居に於ける…天下一品の大寫眞なり近來稀有の疑問の大探偵劇

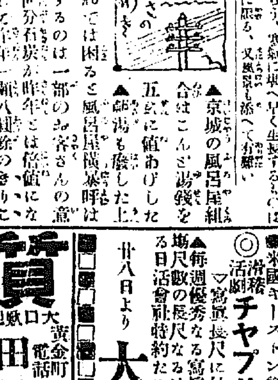
◎第五 レツトサアクル
十四編の內七、八編四卷上場
劇は進んで最高潮に達し女義賊赤輪女の運命は如何。愈々本編に依り其白熱點に達せり 見よ痛快淋漓！

◎滑稽活劇 チヤプリンの惡戯 米國キーストン會社近作

▽寫眞長尺に付正六時開演△
▲每週優秀なる寫眞提供と常に上場尺數の長尺なるは內容の充實せる日活會社特約たる本館の誇とす

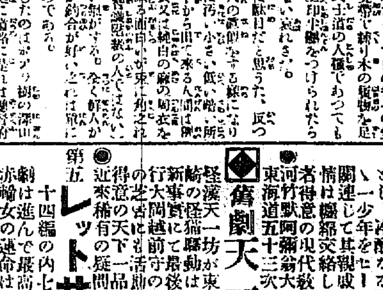
廿八日より 大正館

質 田村質店
大口歡迎　黃金町二丁目長橋町　電話二九一六番
商品擔保便利取扱



醇良無双清酒
無害衛生品質無双
釀造元 福岡縣城島町 首藤合名會社
發賣元 京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 長距離電話一一七一番
釜山港幸町 首藤釜山支店 長距離電話三四三番

腦神經病特効藥



キツト効驗現る!!
一週分を試よ!!

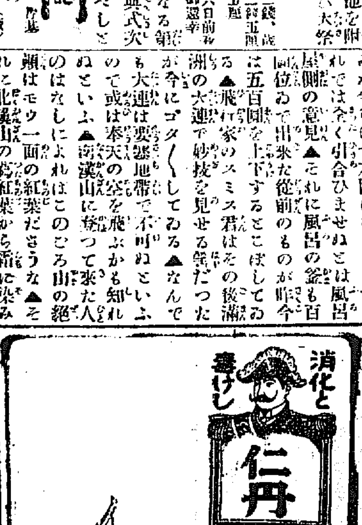
腦神經衰弱症の人 大酒家、喫煙家及び常に頭腦を過勞する人々よ。本劑を常用せば怖る可き中風卒中を未發に防ぎ便通を快し記臆力を增進す

主效 ▲腦充血 ▲逆上 ▲頭痛 ▲腦膜炎 ▲耳鳴 ▲鬱憂 ▲神經痛 ▲眩暈 ▲健忘 ▲腦卒中 ▲不眠 ▲便秘

價 一週分廿錢 四週分七十錢 一週二圓八十錢 五週分五圓
全國藥種店に在り

本舖 丹平商會

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話二三七九・二二七九番



醫界の信認最も高き
新滋養劑レグモン

◎肺結核◎胃腸病
◎熱性病◎神經衰弱
◎其一般病中病後の衰弱◎乳汁不足の婦人は直ちにレグモンを服用せよ!!

◆レグモンは日本人の体質に最も適合する植物性蛋白質を基本とした國產滋養劑にして
◆京都醫科大學教授森島博士より有林恒次、吉澤の四醫學士は多數の衰弱滋養劑として推奬せられ又山下、したる患者に用ひて甚だ有効なる滋養劑たるを實証せられたるものなり

【容器】百瓦入 金壹圓武拾錢　二百瓦入 金武圓武拾錢　四百五拾瓦入 金四圓五拾錢

一手販賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衛

全國知名藥舖に販賣す 説明書無代進呈

櫻御殿

大阪　霞の家主人

第廿八回　先陣爭ひ（四）

正則は二十三日卯の上刻（今の午前五時半頃）商町から南の方を望むと、池田家の軍勢が犇々と押し寄せる、正則は輝政が何かにつけて、家康の娘婿を鼻にかけ、横暴を極めるのを癪に障つて居た際に此の度の出陣には、追手の攻口を輝政に譲つて、おのれは搦手へ廻つて居る、それには堅い約束があつて、合圖の烽火を擧げぬ間は合戰をしない事になつて居る、にも拘はらず岐阜の軍勢と鋒を交へ勝に乘つて、大手の門へ攻めかけたのは、日頃の暴慢が現はれたのぢや、おのれ等如きに先を駈けられ、正則の面皮が立つと思ふか、おめ／＼と禰を食つて三左めの後を追ふほどなら、こゝで潔く命を捨てる、と例の氣象から烈火の如く憤つた

『誰かある、三左衛門の本陣へ使をせ』と大音聲に呼び立つる

『おゝ』と答へて眞先に進み出たは大崎三左衛門であつた

『吉田侍從兼ての約束を反古にして、早くも敵陣へ押し寄せる、先陣を魁けて、我等に鼻を明かさせる心と見ゆた、其方參り、篤と趣意を聞いて參れ、返答その要を得ぬに於ては、武士の意地金鐵ぢや、岐阜の城を陷る前に、まづ吉田侍從と勝負を決する』

『心得てござります』

三左衛門は歡び勇んでお受けをした、これ然しながら大事のお使ひである、このお使ひを正當に果し得ば、早やそこに戰功が現はれる、一つにても戰功を多く積まばそれが直に初瀬御寮への馳走になると思ふので、正則の前を退くと直に悍馬に鞭を擧げて、輝政の陣營へ駈け付けて

『福島左衛門太夫家來でござる、直々申し上げたいことあつて罷り越した、侍從様へ直々御對面が願ひたい』と云ひ込んだ、取次役から輝政へ言上する、輝政はやゝ打案じたが

『これへ』と云つた、三左衛門は案内に伴れて、輝政の前へ通る

もし此處で君命を辱めることがあつては、三左衛門も生きては歸れぬ、故に張り切つた語調を擧げて、正則の口上を傳達した、返答の模樣に由つては、岐阜の城を破る前に、まづ貴殿と勝負を決しようとの一言が、いかに深く輝政の胸を打つたであらう

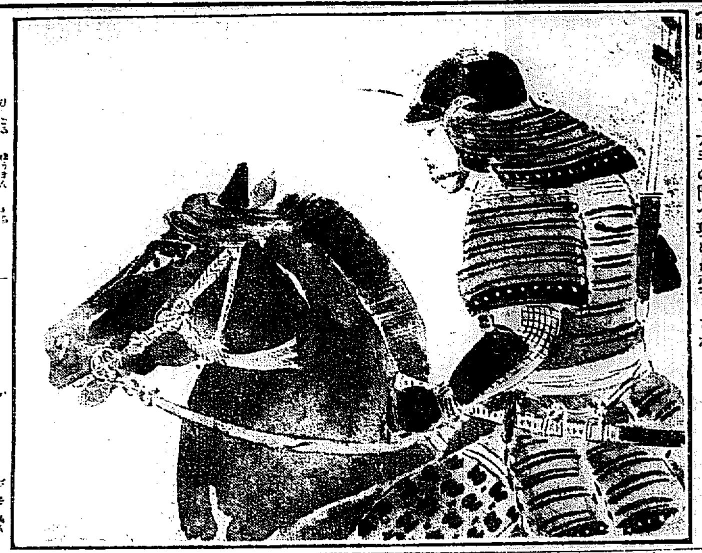
輝政は無言で考へた、武士の意地、正則と勝負を決して、然る後織田秀信を攻め討たうかと思はぬでも無かつたが、正則よりは思慮が深い、これは徳川家に取つて大事の軍である、今日陣の初めに當つて味方が矢軍を初めては、全軍が二つに割れて、遂に不測の大難を來たであらう、止むを得ぬ成行とは云ふもの、一たんの約束を破つて、合圖も待たず軍を初めたのは此方が惡い、こゝは意地を立てる處でない、意地を凝せる處である、と觀じて、次第に面の色を柔げながら

『我等約束に背いたのではない、敵の方から合戰をしかけられて、據なく應戰したまでぢや、左太どの御立腹さこそと思はれる、由つて謝罪の爲め、我等搦手へ廻り申す、左太どの御軍勢、何卒大手へお廻りなされへ』と云つた

三左衛門の使命はこれで全い、大手の攻口を正則に譲つて、おのれ搦手へ廻らうと云ひ出したは、よほどの讓歩である、三左衛門は得意氣に引き返す、さうしてその事を正則へ言上した

『さもあらう、さらば違約の罪は恕す、各自決死の軍をして、吉田者に笑はれまいぞ』

そこで正則の軍勢と、輝政の軍勢とは、上を下へ入れかはつて、直に岐阜攻の用意にかゝつた



西洋料理　低廉すき焼　ハイカラ丼　おいしい洋食第一との高評を博し居り候　南大門通　電話二五七一番　カフエータイガー

銃修繕　玉井銃砲工場　龍山元町二丁目　電話五三八番

■鳥兎居小集

九月二十三日夕方より老人亭下の烏兎居に集まるもの鷗城、森堂、桂堂、靜軒之に烏兎主人を合せて五人、階上の大廣間には雪洞の灯が置かれ、庭の秋草にはしきりに蟬が鳴く、八日の月を顧ふ實には秋の寂しみが流れて見えた。かうした併座にふさはしいあたりの情趣を味ひながら獸坐五人思ふさま句作に耽けつた。互選後醜世の烏兎子と、野生の社堂が爰かくの素謡ひも興をそへつた（靜軒記）

◎課題　蟲、女郎花

緣日やカンテラ暗く蟲を賣る　烏兎
女郎花花屑黄なる盆の上　同
女郎花に毬栗添へて贈り發　森堂
女郎花雨に打たるゝしをらしき　同
草の戸や異邦間しきる蟲の聲　崖城
古ぼけし仁王の像や女郎花　桂堂
草闇や山前に看て蟲の聲　靜軒
女郎花小雨に坂を溢り行く　同

◎席題　朝寒、砧

朝寒の白髮數ふる鏡かな　烏兎
朝寒の岸に立つなり漕ぐ手　同
夕風や山ふところに打つ砧　同
たかむらや山河靜かに濯ぐ砧　崖城
王城の石垣荒れて聞く砧　森堂
温突に雨聽き居れば夢砧　同
朝寒を眠ひ給へと別れけり　同
温突の灯かすかなり小夜砧　桂堂
月暗し苦吟の我に打て砧　同
朝寒や硝子戸越しに山を看る　靜軒

■正誤　昨紙掲載烏兎居小集中『夕顏の花おくれ咲きそゝる姿し』『靜軒』に『夕顏の花おくれ咲くそゝる姿』の誤植

□金剛山雜吟

矢野生

無風流余の如きものにあつても亦金剛山に於ては多少の駄句なかるべからず只恐る此駄句の爲め金剛山の名勝を汚すをなきかを

一番　遙かに金剛山を望みて
屏風の如く聳えたり
長安寺宿泊中午前五時の頃讀經、鐘及木魚の響に目醒めたれば
初秋の夢覺ます行事かな
百錬瀧にて
秋瀧十のように立ちたり名僧塔
正陽寺の望茶樓にて
秋晴を萬二千峯の眺めかな
温井里温泉
湯の宿行き忘れけり甘き栗
旅舍の窓にひや／＼と來ぬ秋の風
萬物相にて
山奇にと見惚ぶや秋の旅
若の松の軍の如く並びけり
三佛巖にて
三佛にて南無阿みだ佛秋の雨
長安寺其の他にて郵便局貯金長出張所員の懇切なりしを感謝して
旅人にある程の菊惠みたり
鳴鸞潭にて
秋の色細界の潤に添へり
奥の茶屋
秋風や山あり怪なるあるに振り

●早稻田大學新講義録　現今通信教授界の權威たる早稻田大學講義録は來る十月より其の政治經濟、法律、文學、中學の各科講義録を刷新し揚載課目を取捨し擔任講師を選定し從來に比すれば內容に於て更に一段の完備を期せり思ふに同大學の講義録は創刊以來三十年の久しきに及び其の事業に貢獻しつゝあれば世の青少年にして之によりて其の希望する專門學科及び中學課程の研究を始めなば得る所決して尠少ならざるべし

皮徽科
皮膚病　徽毒　淋病　膀胱病　生殖器　機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元町）
佐藤醫院（電話一一七三番）

●日本師範學會
□所在　東京市牛込區揚場町
□會長　深作安太郎博士
□創立　明治四十三年四月
□目的　小學校教員檢定試驗準備
□事業　毎月二回師範學科講義録發行
□期間　一年半（男女兩部あり）（完結）
□新學期　本年十月開始（大正八年三月卒業）
□講義録　執筆者は大部分東京高師教授教諭、內容新制、説明平易、質問には最も懇切に答ふ

●しらが染君が代の好評　東京淺草[illegible]藏前山吉商店發賣の白髮染君が代は何る處の藥店化粧品店にて最も賣行よく殆ど同種類中拔群の好評を博し居れりと云ふ品は使法簡便にして短時間に其効を奏すると云ふ因に同品は鮮小賣店の店に於て特賣中なりと云ふ

新刊紹介

▲歷史的日本地理（天津昌學著）全篇を國號の沿革、古書よりの行政區劃、人種及人口、交通の變遷、天災地變、地方誌等の各篇十章に分ち上古よりの歷史的日本地理を説くこと始めて詳密なり（三圓、東京牛込南寺町一四南北社）

▲使ふ人と使はるゝ人（建部遯吾著）著者は善良なる使務方法を攻究して本書を著はせりといふ、使ふ人と使はるゝ人の心得と團体の組織及び理想を説きて最後に『最高の使表』として無學不文の一料理人が仕事に精勵して自他の別なく[illegible]に處したる美談を引證して[illegible]したるは讀む者をして首肯せしむるに足る（五十錢、京城町三丁目 久保田[illegible]）

▲雑誌（十月號）河田博士の分類的宗教精神、[illegible]井上圓了博士の海外發展の道、[illegible]一長亭、[illegible]の人々の[illegible]的消閑として[illegible]、小作[illegible]の[illegible]、[illegible]演説の[illegible]有り（三十錢東京[illegible]町四八大日本雄辯會）

▲婦人畫報（二三九）彩色二頁大口繪及び三色版コロタイプ版寫眞約三十種を添へ[illegible]物に依つて豐富なり（三十錢東京京橋區[illegible]町東京社）

▲學生（世界第一號）世界第一の物を集めたり無慮二百數十とは編者の苦心察するに餘りあり繪畫に記事に奇想天外的なる世界第一盡しを讀み了しなば此の書も亦世界第一ならん（三十錢東京神田表神保町冨山房）

▲新家庭（十月號）表紙に口繪に悟し氣もなく良好なる用紙を選びたる美麗振りみとするに足る美麗なる極彩色石版及び夕セプト、アートタイプ版多數あり本文亦記事豐富にして本誌には首圖懸賞の玩具懸賞募集あり（三十錢東京芝公園九玄文社）

▲日本印刷界（九五）印刷界の指南車たり內容充實し印刷も是れならば模範的と稱するを得べし（二十七錢大阪東區南本町二）

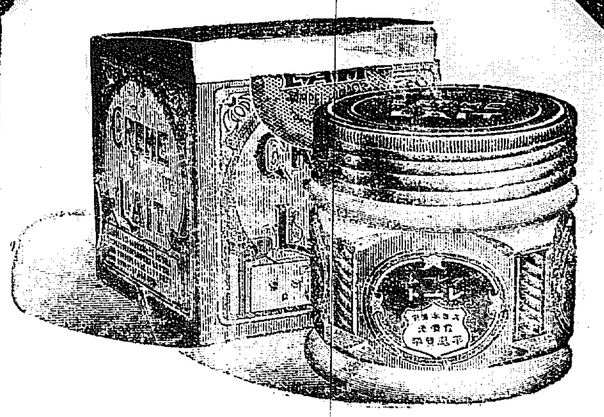
登録商標　ヨ　ほまれ味噌　日本醤油株式會社出張所　電話二四五番

物價暴騰又暴騰を見るの時に於て依然として廉價の良品なるは

品質本位

花王石鹸

鶴香大日本輸入元　大阪安土町　大崎組商會
花王石鹸關西代理店
花王石鹸製造元　東京馬喰町　長瀬商會
鶴香本舗中代理店



高貴御用の美膚料

美しいお肌を粧る

クレームレート

東京　平尾賛平

現今無數のクリームの中で何故レートが一番評判よく一番愛用されるのでせう？　それは言ふ迄もなく㈠分子が非常に細かいから使ふと直ぐにお肌にしつくりとけ合ひ㈡動物性脂肪を徴塵も含まず㈢他品の如き惡臭なく芳香馥郁㈣ドロ／＼した不快な粘り氣がなくお肌を非常に爽快にするからで、工場備付けの精巧無比の煉磨器械と職工の熟練は本舗の誇りとする處、クレームレートが男女の地肌を美しく調へる基本美容料としてのみならず洋化粧の化粧下として此の上にレート粉白粉をお刷きになれば最も現代的な美しい化粧が出來ますので吾も吾もと此の一品を競ふて御愛用になるのであります

㊂浦　芝罘、大連行　共同汽船仁川出帆
第廿共同丸　仁川埠頭　廿七日午後八時　廿八日後十時出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送取扱ひ
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　本町四丁目（電話一七三番）野口商會
元山代理店（電話二四四番）田口回漕部
京城取次店　南大門（電話二六八・二〇一七）河村運送店

大阪商船仁川出帆
○外航路所屬航路（滿洋航路を除く）の同地發船の時は五分前以て連絡切符發賣
●神戸、大阪行　×信ノ川丸　九月　日　後三時出
×濟州丸　十月一日
●南浦、神戸、大阪行　汕頭丸　十月七日　後三時出
●木浦、釜山、廣島、宇品、門司、長崎行　安東丸　十月十一日　後二時出
×安東丸　十月廿九日　後二時出
○橫濱行　汕頭丸　月　日　後二時出
福州丸　月　日
●南浦行　濟州丸　九月廿八日　後二時出
●鎭南浦、大連行　安東丸　十月六日　後二時出
安東丸　十月廿四日
●西湖津新浦城津清津行（元山出）安平丸　十月二日　後三時出
●清津行（元山出帆）宮島丸　十月八日　後三時出
●上海、基隆、打狗行（大連出帆）湖北丸　九月　日　後四時出
基隆丸　十月十三日　前五時出
御注意　●乘船切符發賣の際[illegible]
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二〇番・二二〇八番
切符發賣所　內國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通　開業旅館　電話二六一番

朝鮮郵船　帆出
本社　電話長一九五三番・二三三三番
京城南大門驛前　松原運送店　電話一二七〇
○關門より釜山各地經由雄基行　但し×印あるは江原道寄港せず
京城丸　十月十六日
×咸鏡丸　十月四日
平壤丸　十月九日
忠淸丸　九月廿九日　釜山發
○元山より各地經由雄基行
穩城丸　九月三十日
咸鏡丸　十月四日
忠淸丸　十月二日　元山發
○浦潮行（元山より城津淸津經由）平安丸　十月一日　元山發
○元山より淸津行
穩城丸　九月廿九日
咸鏡丸　九月三十日
穩城丸　十月八日　元山發
○龍巖浦行（海州經由）江陵丸　襄陽丸　毎日　釜山發
○浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）承德丸　十月三日　釜山發
○濟州島行（長承浦麗水巨文島經由）昌平丸　十月廿九日　釜山發
○麗水行（各地經由）統營丸　河東丸　巨濟丸　毎日　釜山發
○木浦麗水間（麗水にて釜山行接續）順天丸　南陽丸　三日目毎に木浦發
○木浦より濟州島各地經由　慶興丸　十月七日　西湖丸　十月一日　木浦發
○木浦行（群山其他各地經由）晋州丸　十月八日　麗水丸　十月二日　仁川發
○多島海名島行　慶興丸　十月三日　木浦發
○鎭南浦行（海州其他各地經由）宗信丸　十月二日　仁川發
○海州行（江華島喬桐島經由）錦江丸　全州丸　毎日　仁川發
○青島行（芝罘大連經由）江原丸　十月十日　仁川發　但し三十一日は休航

商況

大阪期米特電

寄附　二〇、五二　二〇、六〇　二〇、四五
高値　二〇、五五　二〇、五〇　二〇、〇〇
安値　二〇、五二　二〇、五〇　二〇、三七
止り　二〇、五五　二〇、五四　二〇、四四

[illegible]五十錢と跳ね返したるが大阪二圓二十一圓高しと大阪の商況に軟化の氣を[illegible]

▲第一回拂込　[illegible]

▲依然下落る　大阪の期米[illegible]

●金指輪ご賊　京城林町[illegible]て逃亡したりと心當りの者は本町署司法係につき紹介すべし